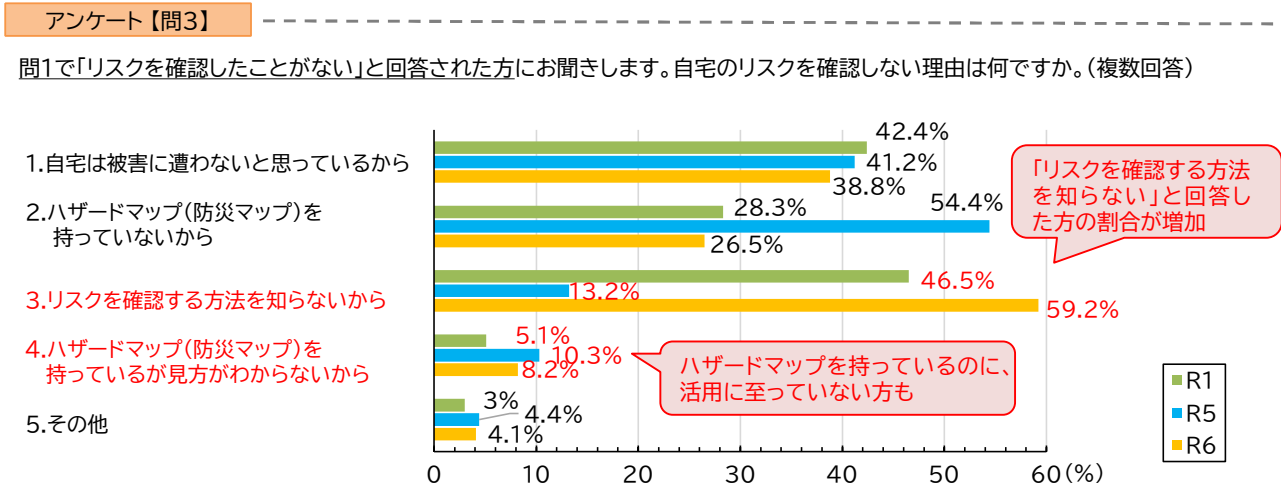
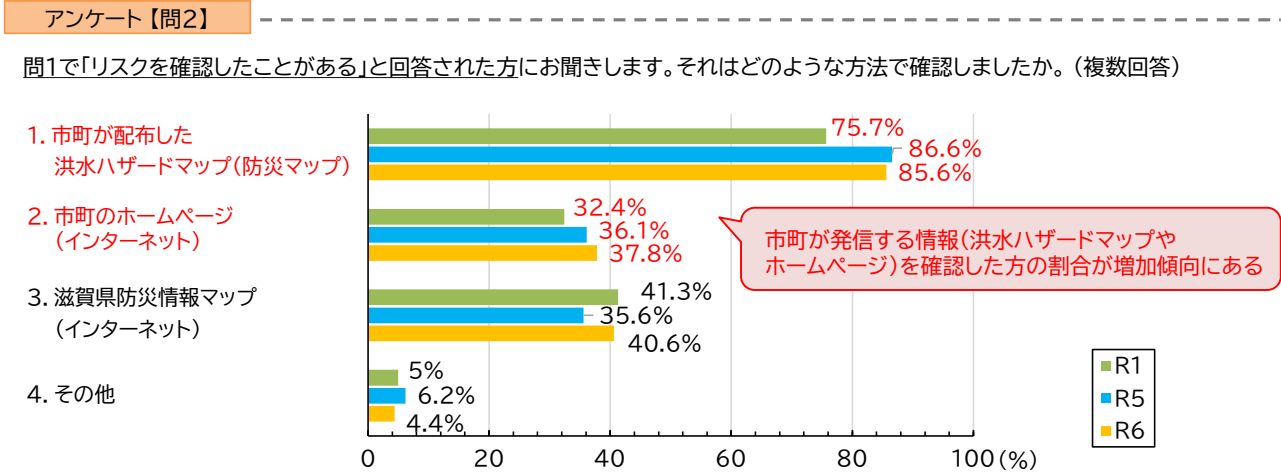
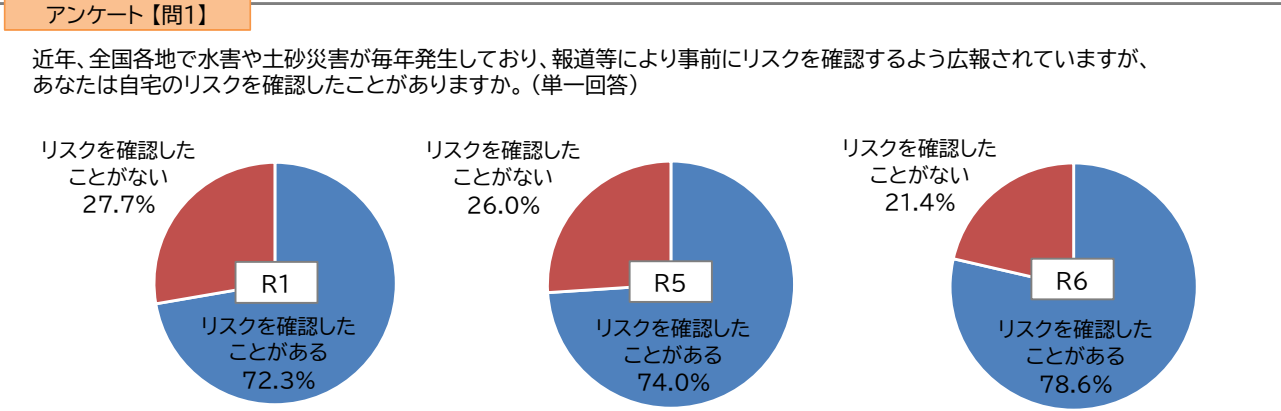
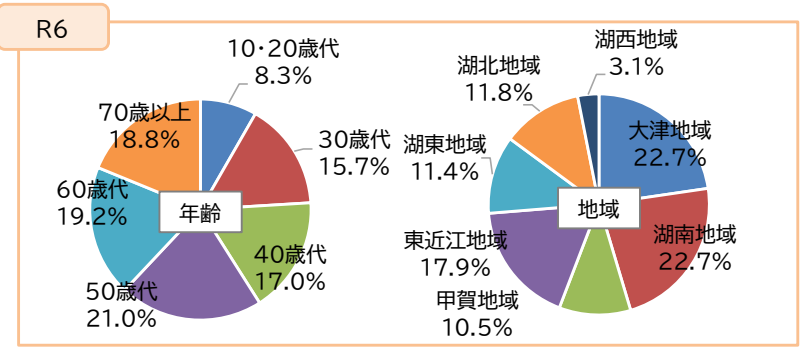
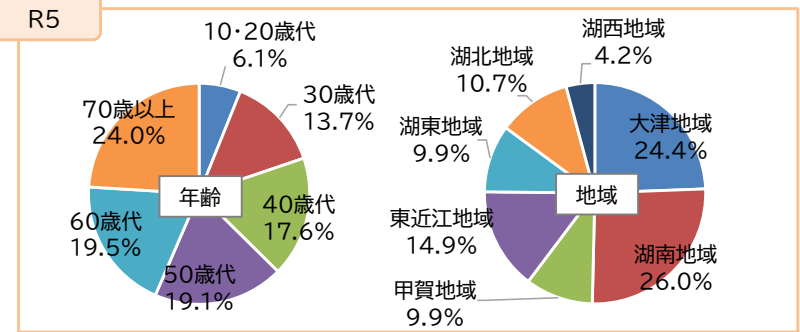
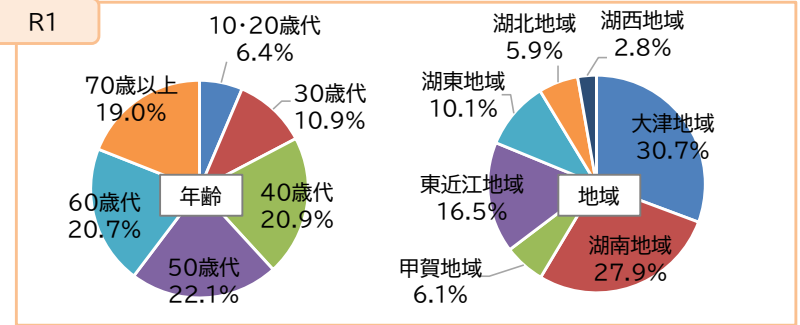


基本情報			
	R1年度実施	R5年度実施	R6年度実施
調査時期	10月	11月	2月
対象者 (県政モニター)	399人	295人	299人
回答数	358人 (回収率 89.7%)	262人 (回収率 88.8%)	229人 (回収率 76.6%)

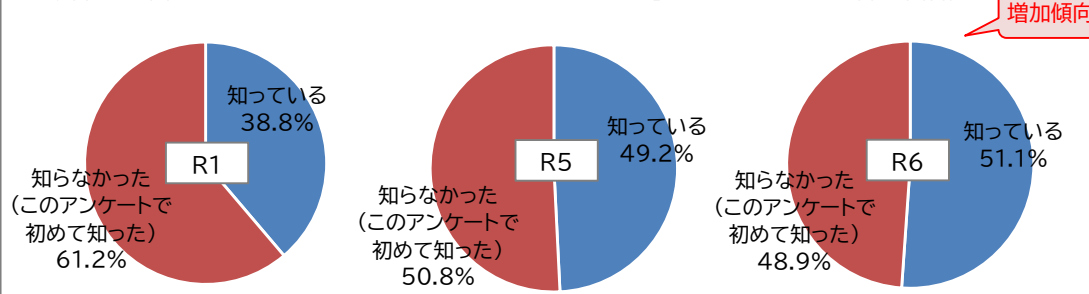
※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合があります。



豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果(抜粋)

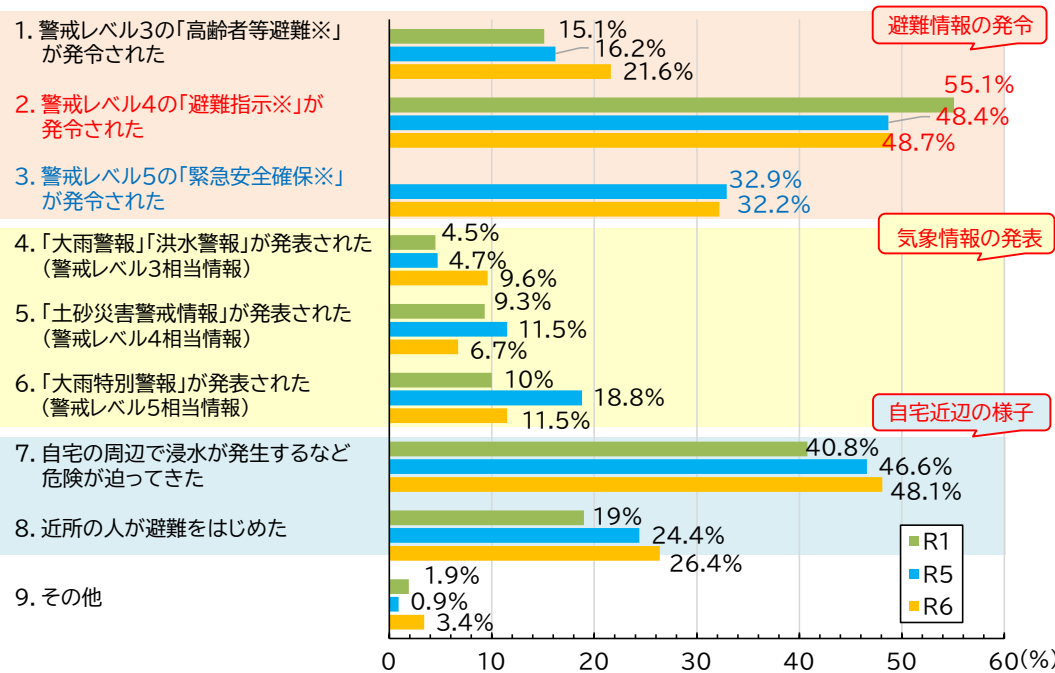
アンケート【問4】

滋賀県では、大きな河川の氾濫だけではなく、身近な水路や小河川の氾濫も含めた「地先の安全度マップ」という水害リスク図を公表しています。あなたは、「地先の安全度マップ」を知っていますか。(単一回答)



アンケート【問5】

豪雨により自分の周りで水害や土砂災害の危険性が高くなってきた場合、「指定された避難場所に避難する」「自宅の2階以上に垂直避難する」「避難場所にこだわらず安全な場所(親戚の家等)に避難する」と回答された方にお聞きします。避難を開始するタイミングについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(複数回答)

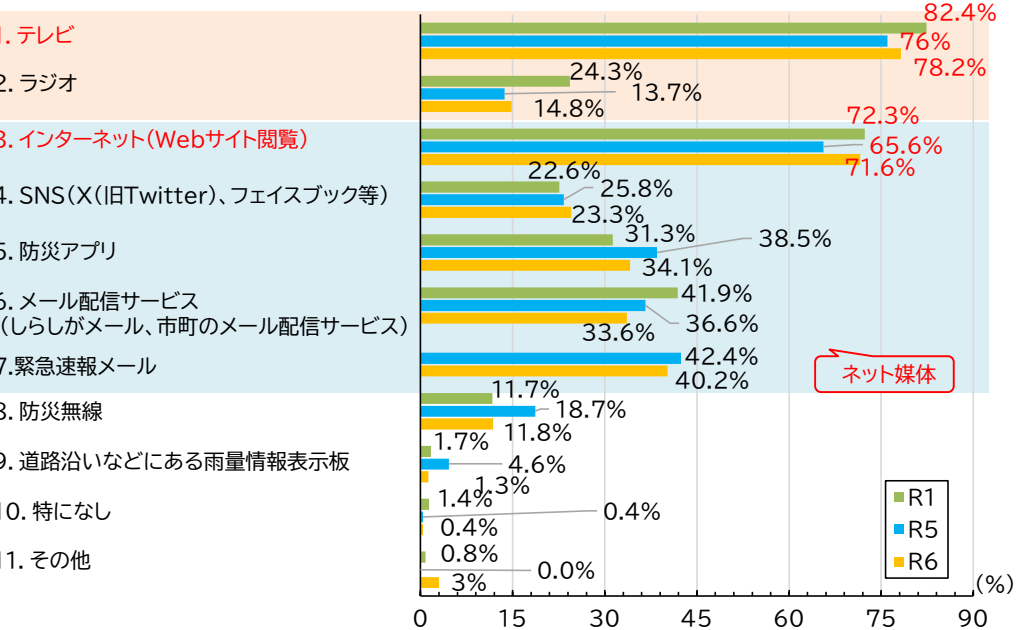


選択肢2と3の両方に回答した方の割合は、R5は11.8%でR6は9.6%でした。また、選択肢2には回答せず選択肢3に回答した方の割合は、R5は17.6%でR6は22.6%でした。
→「避難指示※」の発令を避難開始のタイミングと判断する方、「緊急安全確保※」の発令を待ってから避難すると考える方ともに割合は横ばいの傾向が見られます。

※ R1実施時は、警戒レベル3:「避難準備・高齢者等避難開始」、警戒レベル4:「避難勧告」、警戒レベル5:「災害発生情報」
選択肢3に対応する回答項目はなし(警戒レベル5:「災害発生情報」発令で避難する方の割合は調査していない)

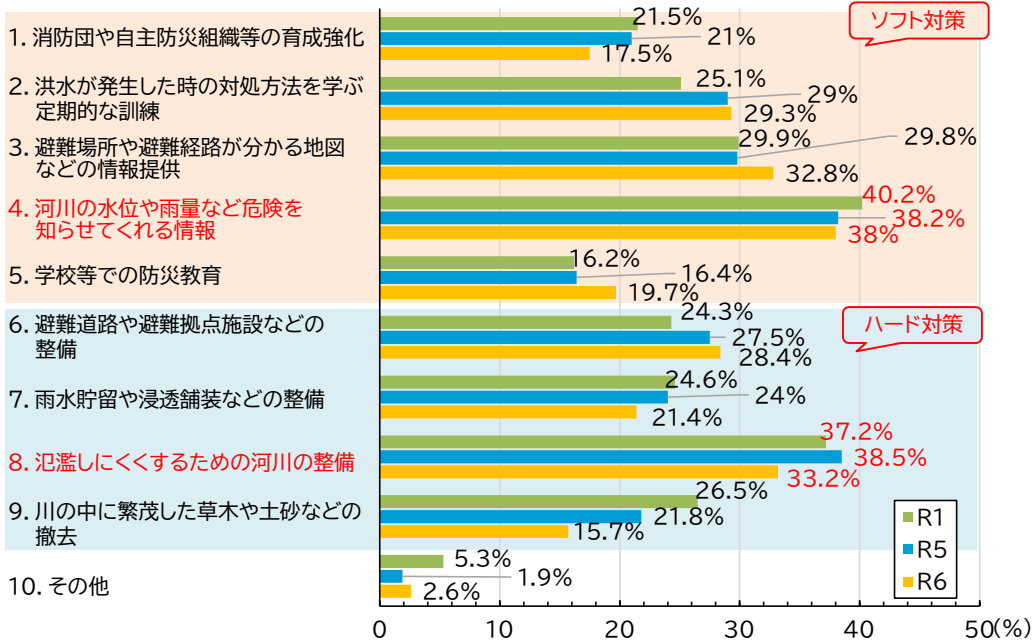
アンケート【問6】

※「7.緊急速報メール」はR5より追加
豪雨災害時の情報取得手段として、あなたがよく活用しているものを選んでください。(複数回答)



アンケート【問7】

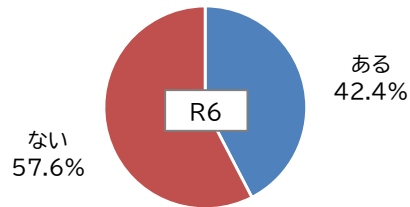
洪水から命や財産を守るため、あなたは県や市町の行政に対してどのような取組を望まれますか。重視して進めるべきと考えるものを選んでください。(複数回答、3つまで)



豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果(抜粋)

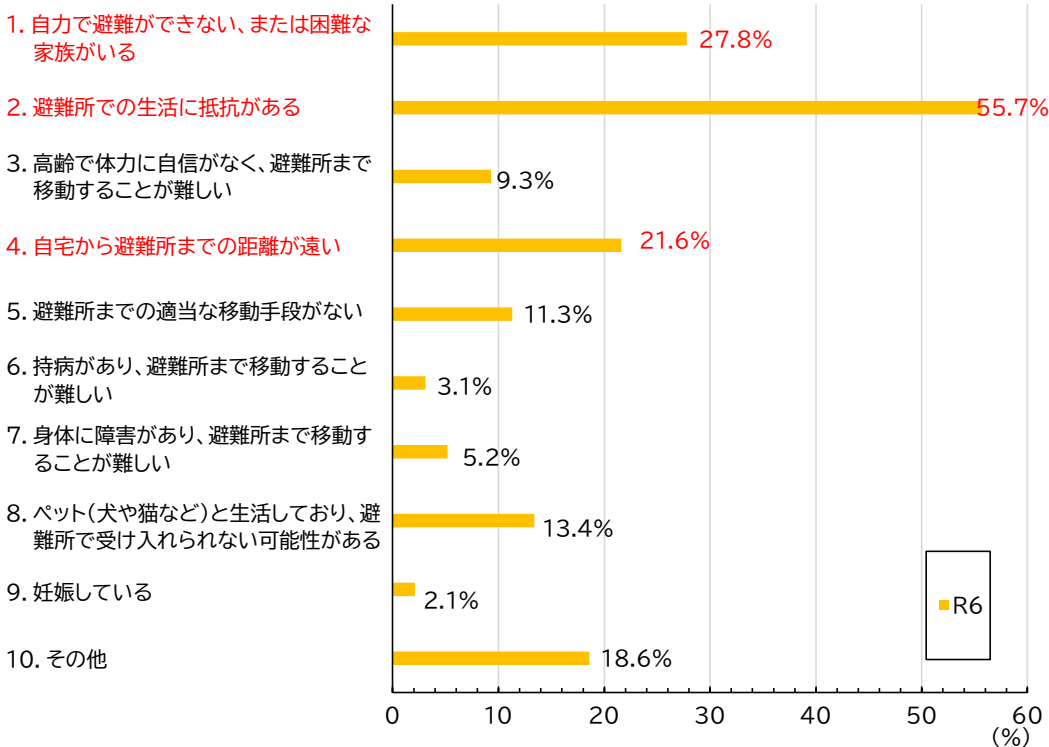
アンケート【問8】

自宅以外の場所への水平避難に当たり、支障となる事情はありますか。(単一回答)
※水平避難…自宅から、指定避難所や親戚宅等に移動して避難すること



アンケート【問9】

問8で「1. ある」と回答された方にお聞きます。あなたにとって避難の支障となる事情は何ですか。(複数回答)

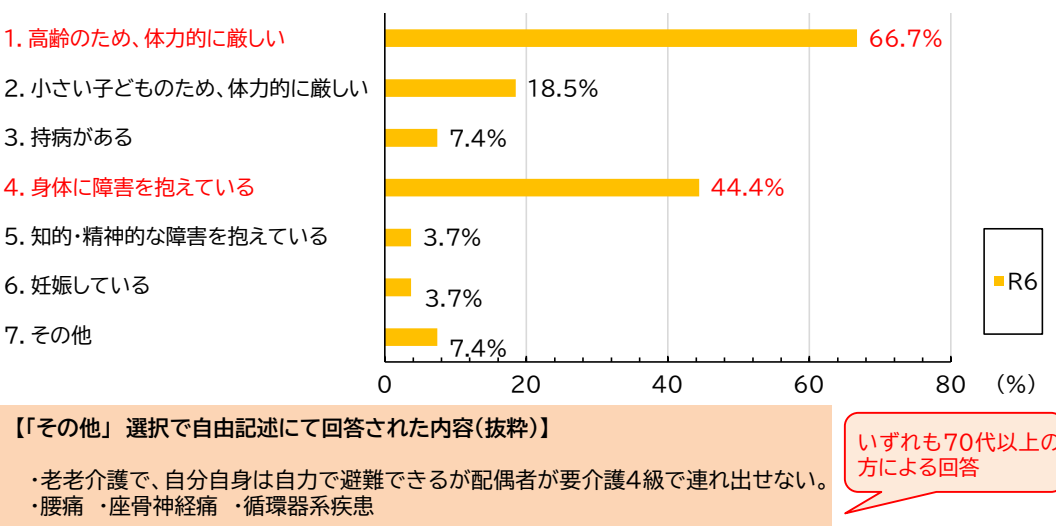


【「その他」選択で自由記述にて回答された内容(抜粋)】

- ・臭いで体調不良になる子どもがいる。
- ・避難所までの経路が危険である。(河川、用水路、アンダーパス、橋)
- ・避難所の方が自宅よりも水害リスクが高い。
- ・聴覚が不自由で、避難するタイミングや避難所の開設状況が分かりにくい。
- ・自治会ごとに避難場所が設定されているが、自宅は他の自治会が指定する避難場所に近い場所にある。

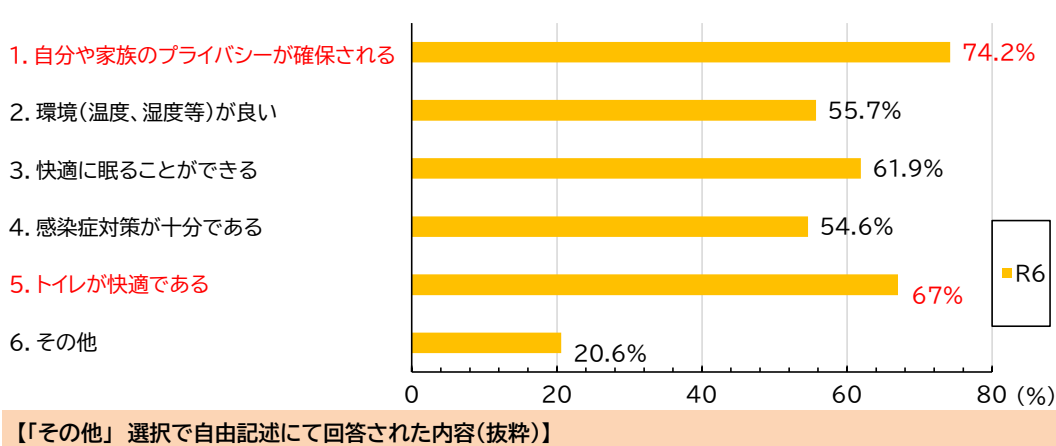
アンケート【問10】

問9で「自力で避難ができない、または困難な家族がいる」と回答された方にお聞きます。その方はどのような事情を抱えておられますか。(複数回答)



アンケート【問11】

問8で「1. ある」と回答された方にお聞きます。避難所にどのようなことを求めますか。(複数回答)

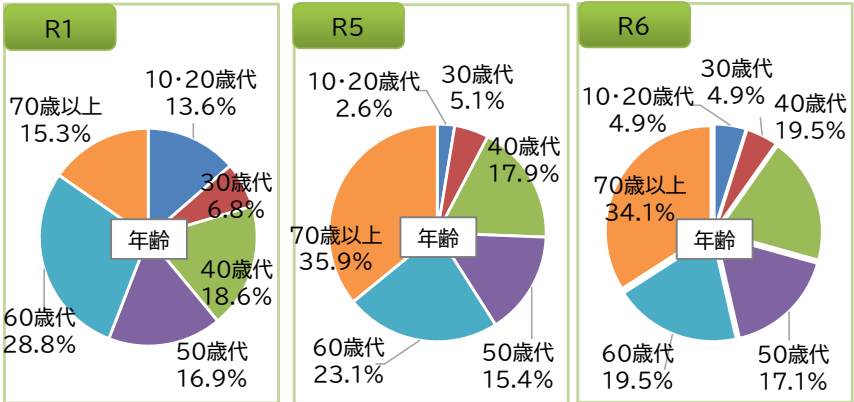


※ 問8～問11は、R6年度実施分より新たに追加した設問

豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果(抜粋)

東近江圏域分のアンケート結果

	R1年度実施	R5年度実施	R6年度実施
調査時期	10月	11月	2月
東近江圏域対象者	59人	39人	41人



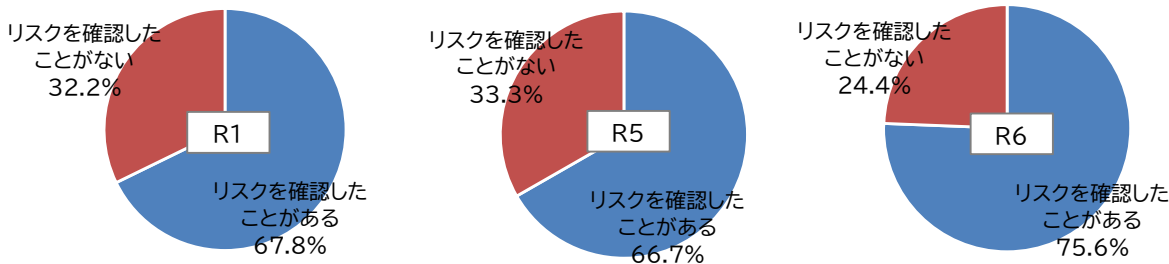
滋賀県全域のアンケート結果から、東近江圏域分のみ抽出し、東近江圏域の特徴について整理しました。結果は、以下のとおりです。

◇東近江圏域のアンケート結果の特徴

- ①リスクを確認したことがない方が自宅のリスクを確認しない理由は、「自宅は被害に遭わないと思っているから」が最も多かった。県全域では「リスクを確認する方法を知らないから」が最も多かった。→【問3】
- ②避難開始のタイミングについて、「避難指示」の発令とする方の割合が県全域より低く、「近所の人が避難をはじめた」と回答した方の割合が県全域よりも高い。→【問5】
- ③避難の支障となる事情として、「高齢のため移動が難しい」、「自宅から避難所までの距離が遠い」方の割合が高い。→【問9】
- ④避難所に求めることとして、県全域と概ね傾向は似ているが、「自分や家族のプライバシーが確保される」と回答された方の割合が高い。また、「避難所での生活に抵抗がある」と回答された方の割合は、県全域と比較すると低い。→【問11】
- ⑤その他のアンケート項目については、滋賀県全域の結果と同様の傾向を示した。

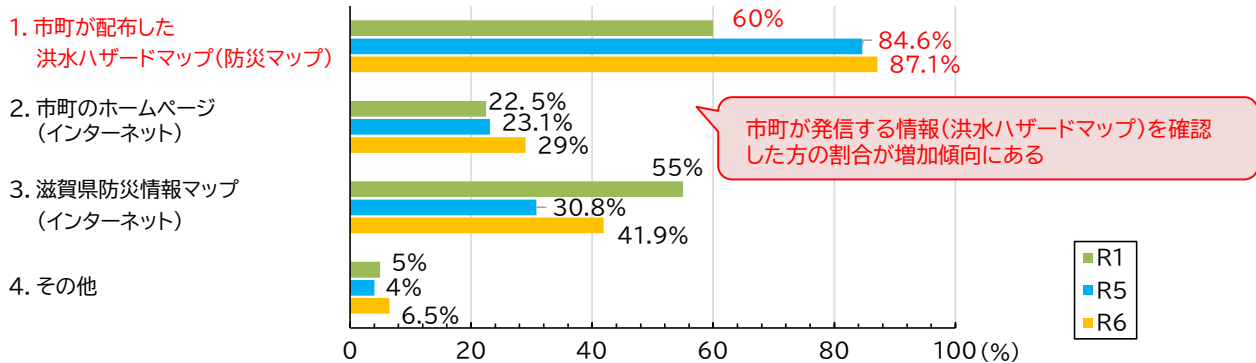
アンケート（東近江圏域）【問1】

近年、全国各地で水害や土砂災害が毎年発生しており、報道等により事前にリスクを確認するよう広報されていますが、あなたは自宅のリスクを確認したことがありますか。（単一回答）



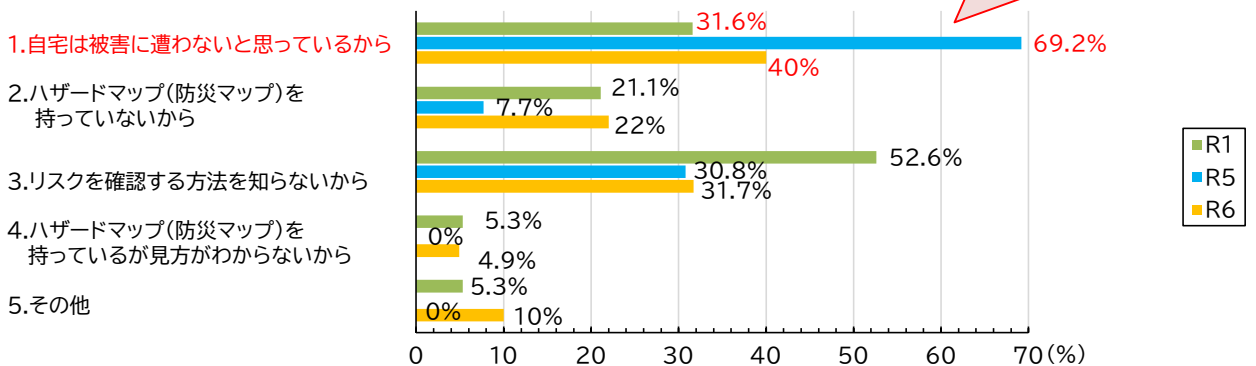
アンケート（東近江圏域）【問2】

問1で「リスクを確認したことがある」と回答された方にお聞きます。それはどのような方法で確認しましたか。（複数回答）



アンケート（東近江圏域）【問3】

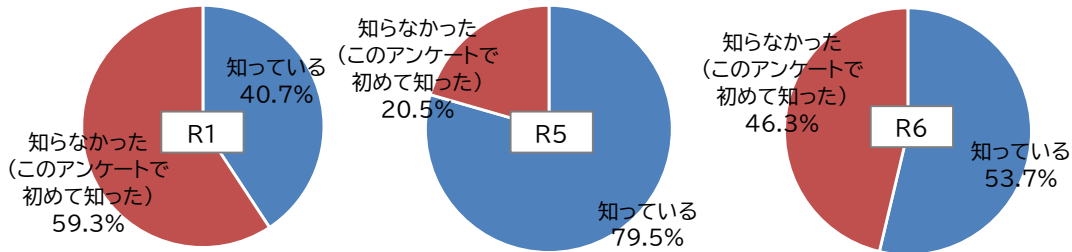
問1で「リスクを確認したことがない」と回答された方にお聞きます。自宅のリスクを確認しない理由は何ですか。（複数回答）



豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果(抜粋)

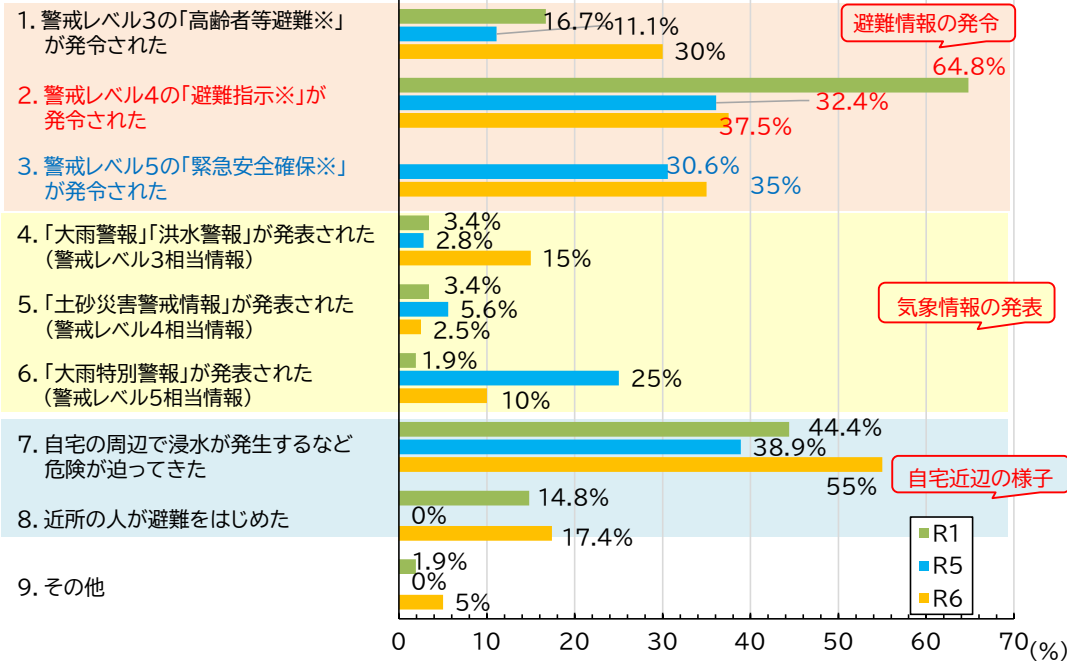
アンケート（東近江圏域）【問4】

滋賀県では、大きな河川の氾濫だけではなく、身近な水路や小河川の氾濫も含めた「地先の安全度マップ」という水害リスク図を公表しています。あなたは、「地先の安全度マップ」を知っていますか。（単一回答）



アンケート（東近江圏域）【問5】

豪雨により自分の周りで水害や土砂災害の危険性が高くなってきた場合、「指定された避難場所に避難する」「自宅の2階以上に垂直避難する」「避難場所にこだわらず安全な場所（親戚の家等）に避難する」と回答された方にお聞きします。避難を開始するタイミングについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。（複数回答）

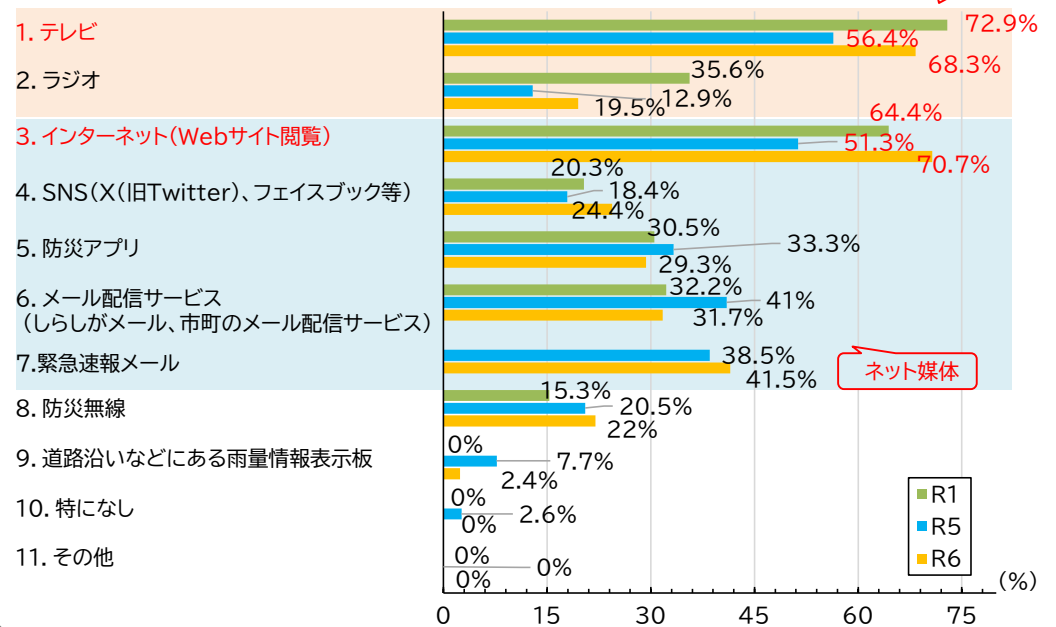


選択肢2と3の両方に回答した方の割合は、R5は2.8%でR6は5%でした。また、選択肢2には回答せず選択肢3に回答した方の割合は、R5は27.8%でR6は30%でした。
→「避難指示※」の発令を避難開始のタイミングと判断する方の割合、「緊急安全確保※」の発令を待ってから避難すると考える方の割合は横ばいです。
また、「避難指示※」の発令で避難するタイミングと回答した方の割合が、滋賀県全域の平均値より低い傾向を示しています。

※ R1実施時は、警戒レベル3:「避難準備・高齢者等避難開始」、警戒レベル4:「避難勧告」、避難指示(緊急)」、警戒レベル5:「災害発生情報」
選択肢3に対応する回答項目はなし(警戒レベル5:「災害発生情報」発令で避難する方の割合は調査していない)

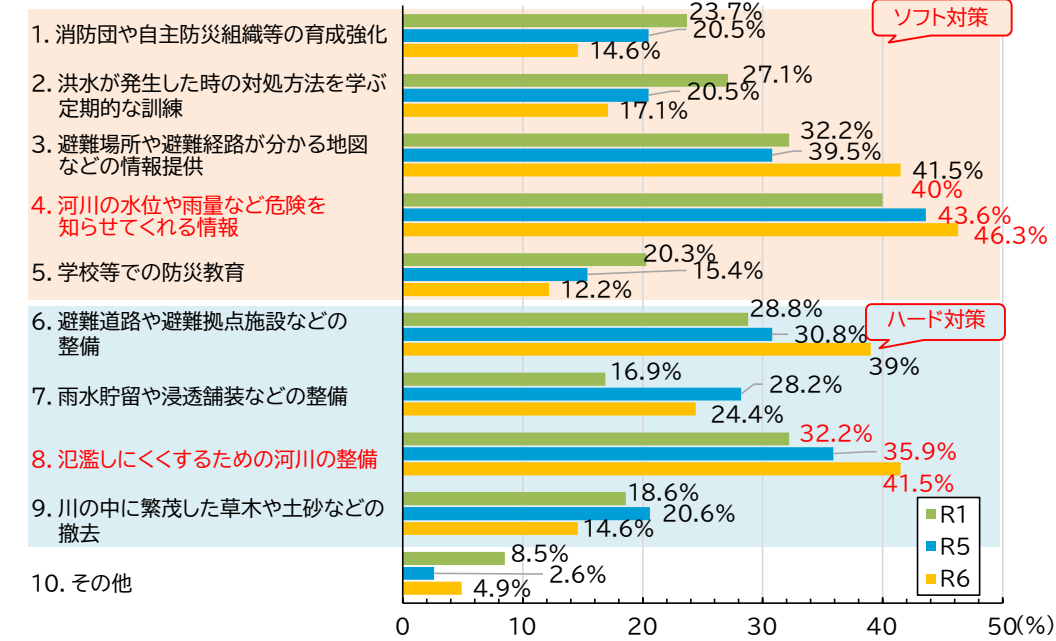
アンケート（東近江圏域）【問6】

※「7.緊急速報メール」はR5より追加
豪雨災害時の情報取得手段として、よく活用しているものを教えてください。（複数回答）



アンケート（東近江圏域）【問7】

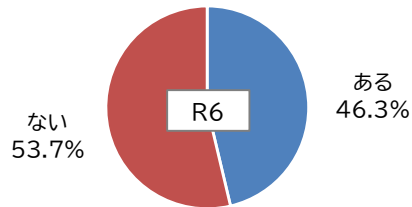
洪水から命や財産を守るため、あなたは県や市町の行政に対してどのような取組を望まれますか。重視して進めるべきと考えるものを選んでください。（複数回答、3つまで）



豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果(抜粋)

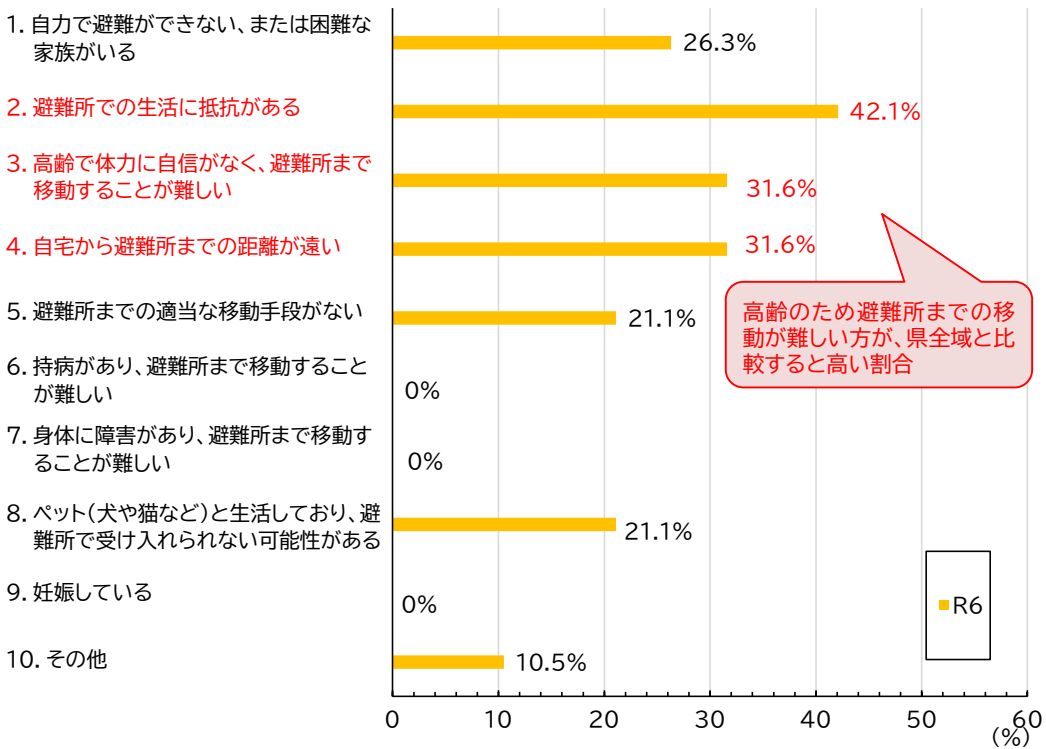
アンケート（東近江圏域）【問8】

自宅以外の場所への水平避難に当たり、支障となる事情はありますか。(単一回答)
※水平避難…自宅から、指定避難所や親戚宅等に移動して避難すること



アンケート（東近江圏域）【問9】

問8で「1. ある」と回答された方にお聞きます。あなたにとって避難の支障となる事情は何ですか。(複数回答)

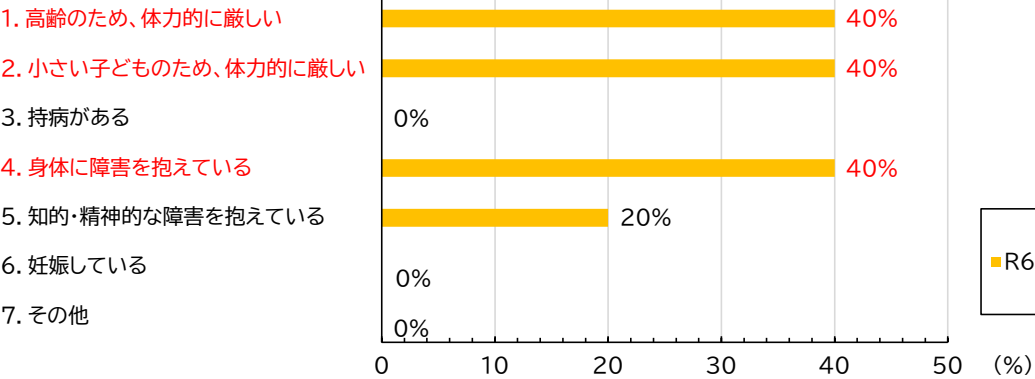


【「その他」選択で自由記述にて回答された内容(抜粋)】

・自治会ごとに避難場所が設定されているが、自宅は他の自治会が指定する避難場所に近い場所にある。

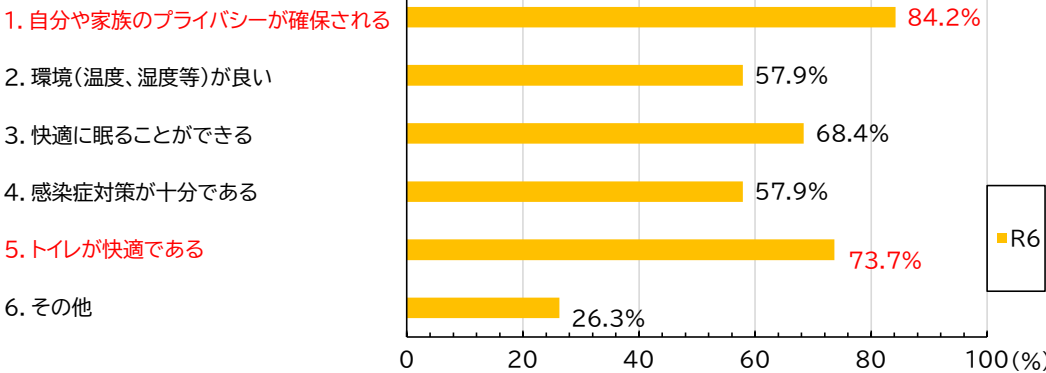
アンケート（東近江圏域）【問10】

問9で「自力で避難ができない、または困難な家族がいる」と回答された方にお聞きます。その方はどのような事情を抱えておられますか。(複数回答)



アンケート（東近江圏域）【問11】

問8で「1. ある」と回答された方にお聞きます。避難所にどのようなことを求めますか。(複数回答)



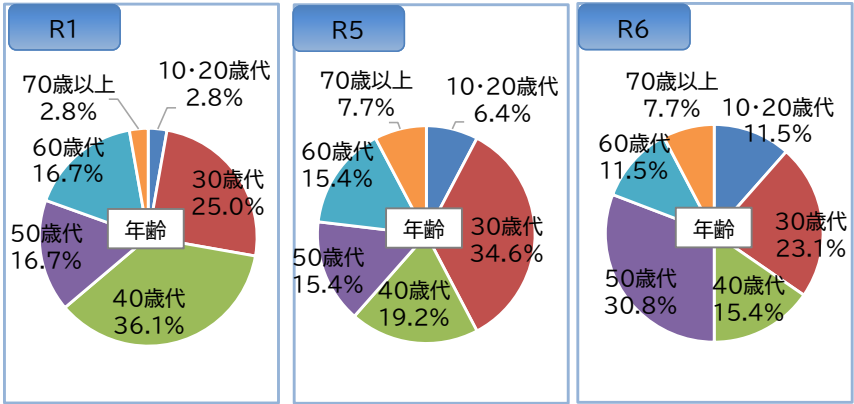
【「その他」選択で自由記述にて回答された内容(抜粋)】

・医療的ケアが必要な家族がいるので電源を使いたい。一時避難所に行かず直接福祉避難所に行きたい。
・何よりも治安の良さを一番に求める。
・避難する際に一番近く安全な場所を自由に選択したい。
・ペットも一緒に避難したい。

豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果(抜粋)

湖東圏域分のアンケート結果

	R1年度実施	R5年度実施	R6年度実施
調査時期	10月	11月	2月
湖東圏域対象者	36人	26人	26人



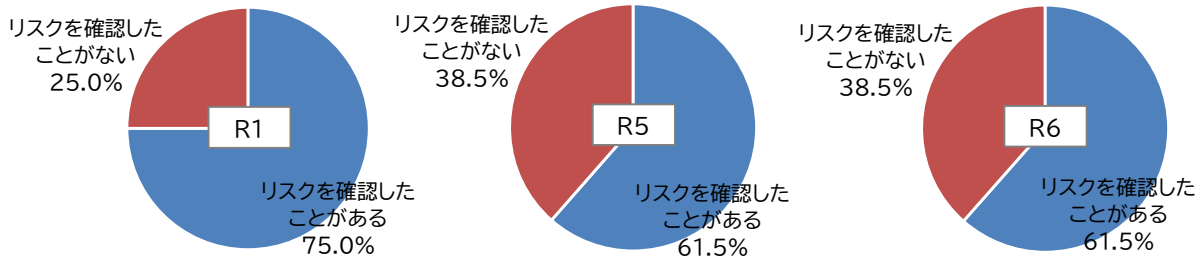
滋賀県全域のアンケート結果から、湖東圏域分のみ抽出し、湖東圏域の特徴について整理しました。結果は、以下のとおりです。

◇湖東圏域のアンケート結果の特徴

- ①事前にリスクの確認を行っている方が県全域では若干増加傾向が見られるものの、湖東圏域ではその傾向が見られない。→【問1】
- ②リスク確認の方法として、市町が発信する情報(洪水ハザードマップやホームページ)を活用されている方の割合が、県全域と比較するとやや少ない。→【問3】
- ③避難を開始するタイミングについて、警戒レベル5「緊急安全確保」の発令としている方の割合が県全域と比較すると少なく、この傾向が続いている。→【問5】
- ④避難の支障となる事情として、「避難所での生活に抵抗がある」と回答された方の割合が、県全域と比較すると高い。→【問9】
- ⑤その他のアンケート項目については、滋賀県全域の結果と同様の傾向を示した。

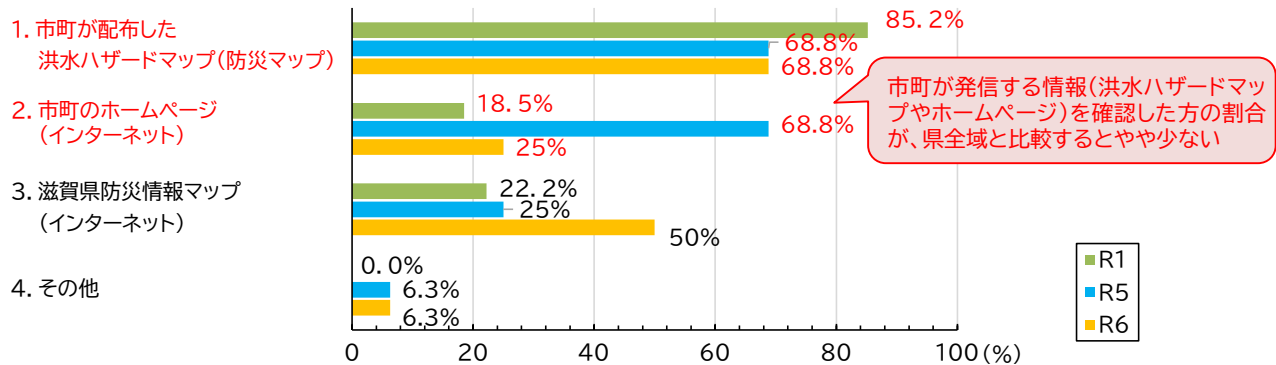
アンケート(湖東圏域)【問1】

近年、全国各地で水害や土砂災害が毎年発生しており、報道等により事前にリスクを確認するよう広報されていますが、あなたは自宅のリスクを確認したことがありますか。(単一回答)



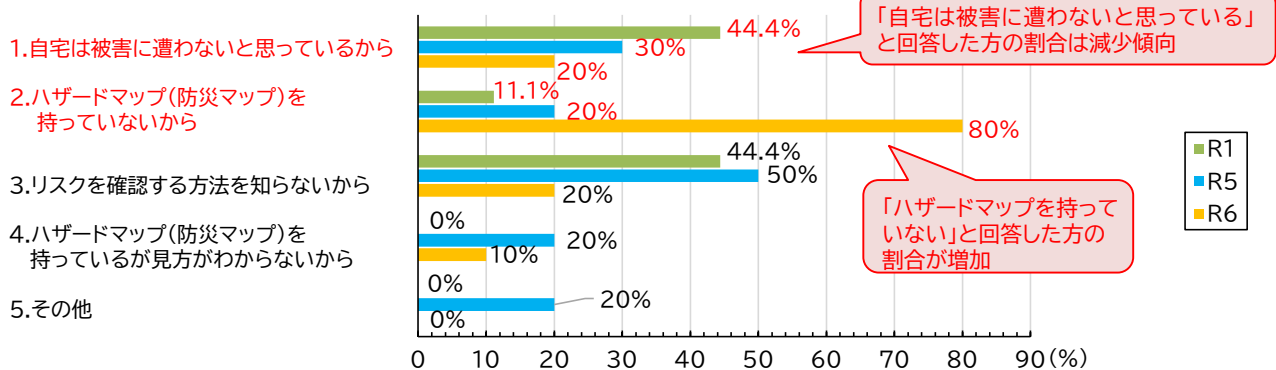
アンケート(湖東圏域)【問2】

問1で「リスクを確認したことがある」と回答された方にお聞きます。それはどのような方法で確認しましたか。(複数回答)



アンケート(湖東圏域)【問3】

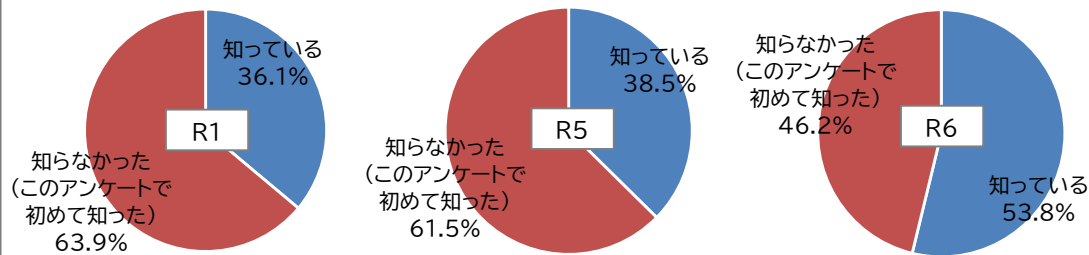
問1で「リスクを確認したことがない」と回答された方にお聞きます。自宅のリスクを確認しない理由は何ですか。(複数回答)



豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果(抜粋)

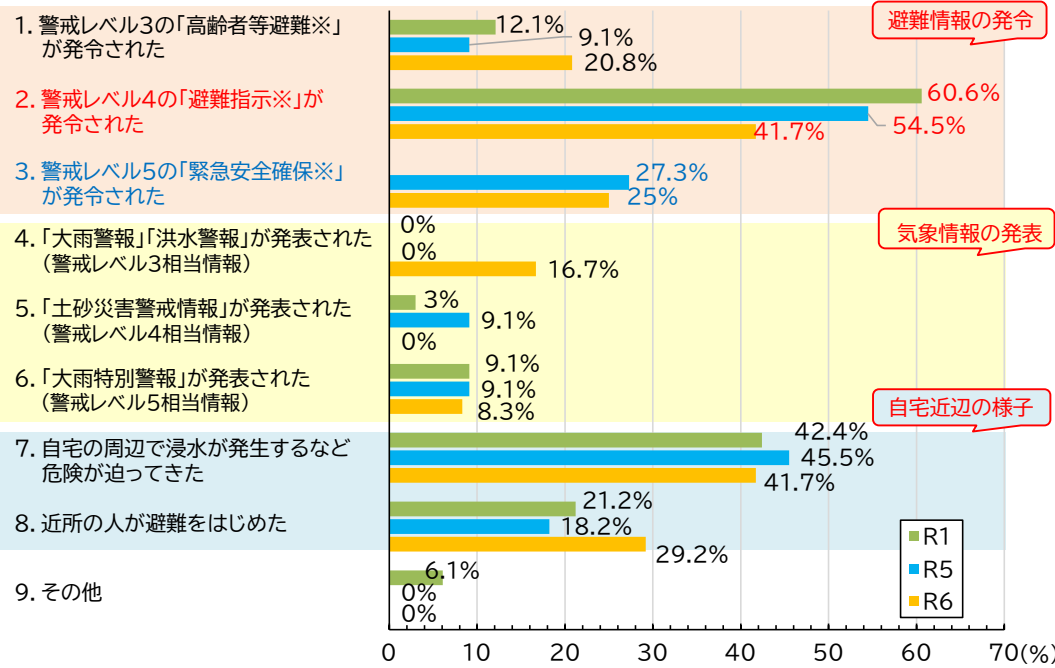
アンケート（湖東圏域）【問4】

滋賀県では、大きな河川の氾濫だけではなく、身近な水路や小河川の氾濫も含めた「地先の安全度マップ」という水害リスク図を公表しています。あなたは、「地先の安全度マップ」を知っていますか。（単一回答）



アンケート（湖東圏域）【問5】

豪雨により自分の周りで水害や土砂災害の危険性が高くなってきた場合、「指定された避難場所に避難する」「自宅の2階以上に垂直避難する」「避難場所にこだわらず安全な場所（親戚の家等）に避難する」と回答された方にお聞きします。避難を開始するタイミングについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。（複数回答）

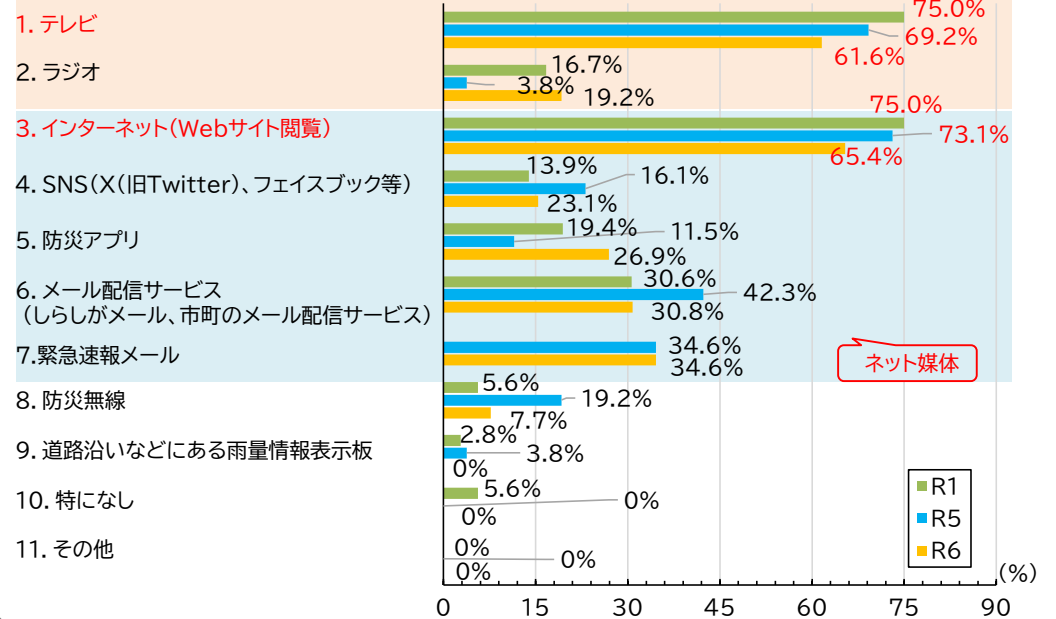


選択肢2と3両方に回答した方の割合は、R5は13.6%でR6は8.3%でした。また、選択肢2には回答せず選択肢3に回答した方の割合は、R5は13.6%でR6は16.7%でした。
→「避難指示※」の発令を避難開始のタイミングと判断する方の割合が減少傾向にあり、「緊急安全確保※」の発令を待ってから避難すると考える方の割合は横ばいです。

※ R1実施時は、警戒レベル3:「避難準備・高齢者等避難開始」、警戒レベル4:「避難勧告」、警戒レベル5:「災害発生情報」発令で避難する方の割合は調査していない
選択肢3に対応する回答項目はなし（警戒レベル5:「災害発生情報」発令で避難する方の割合は調査していない）

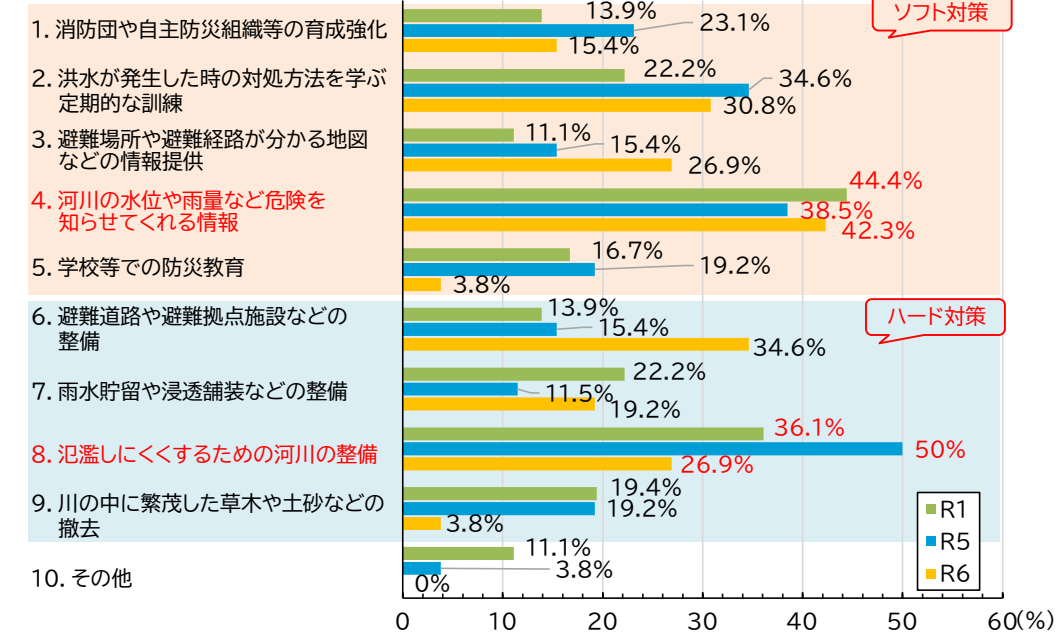
アンケート（湖東圏域）【問6】

※「7.緊急速報メール」はR5より追加
豪雨災害時の情報取得手段としてよく活用しているものを教えてください。（複数回答）



アンケート（湖東圏域）【問7】

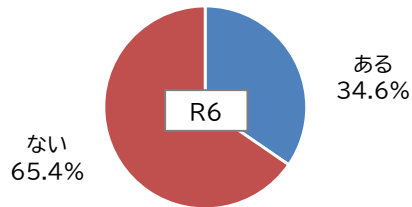
洪水から命や財産を守るため、あなたは県や市町の行政に対してどのような取組を望まれますか。重視して進めるべきと考えるものを選んでください。（複数回答、3つまで）



豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果(抜粋)

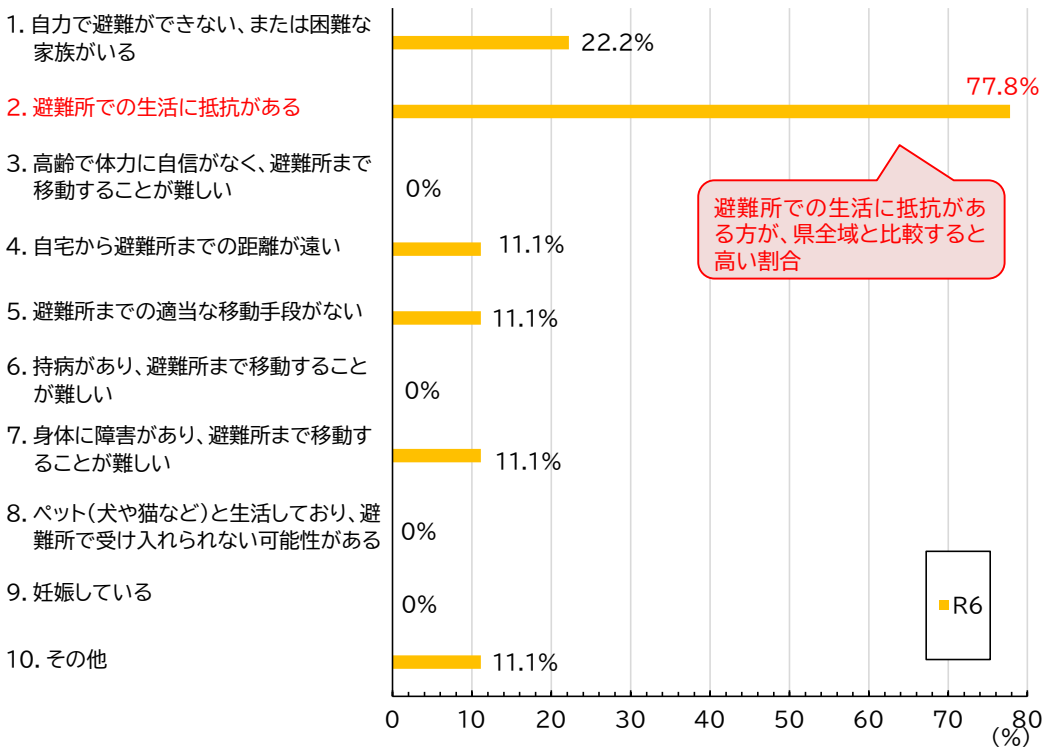
アンケート（湖東圏域）【問8】

自宅以外の場所への水平避難に当たり、支障となる事情はありますか。(単一回答)
※水平避難・・・自宅から、指定避難所や親戚宅等に移動して避難すること



アンケート（湖東圏域）【問9】

問8で「1. ある」と回答された方にお聞きます。あなたにとって避難の支障となる事情は何ですか。(複数回答)

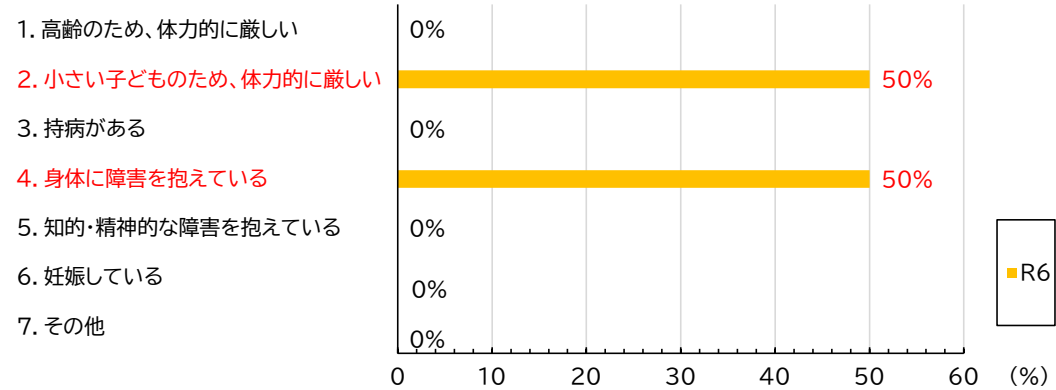


【「その他」選択で自由記述にて回答された内容(抜粋)】

・避難所の方が自宅よりも水害リスクが高い。

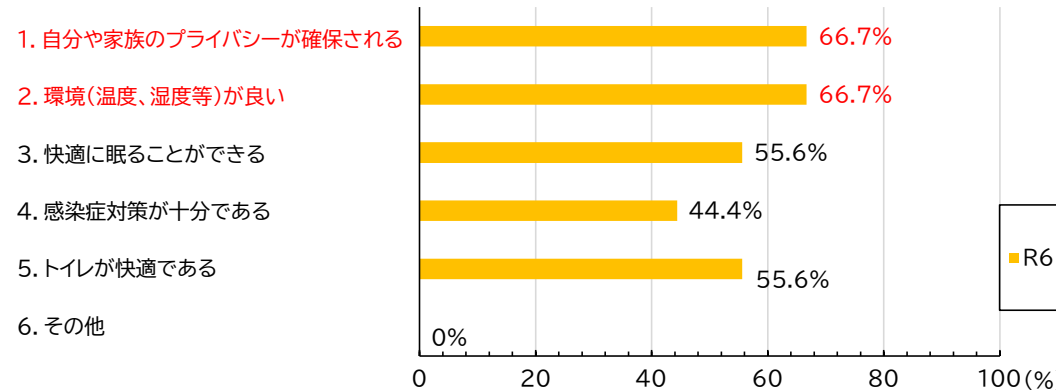
アンケート（湖東圏域）【問10】

問9で「自力で避難ができない、または困難な家族がいる」と回答された方にお聞きます。その方はどのような事情を抱えておられますか。(複数回答)



アンケート（湖東圏域）【問11】

問8で「1. ある」と回答された方にお聞きます。避難所にどのようなことを求めますか。(複数回答)

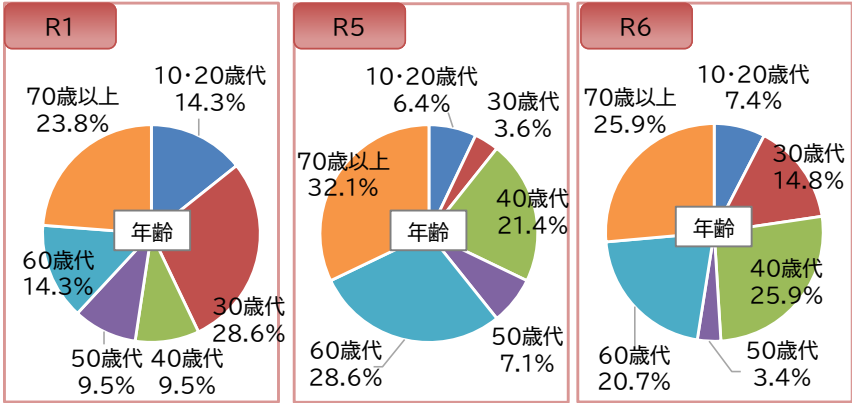


※ 問8～問11は、R6年度実施分より新たに追加した設問

豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果(抜粋)

湖北圏域分のアンケート結果

	R1年度実施	R5年度実施	R6年度実施
調査時期	10月	11月	2月
湖北圏域対象者	21人	28人	27人



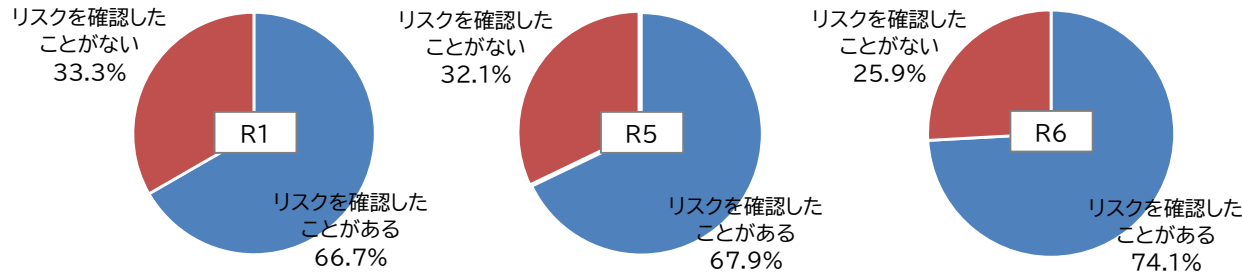
滋賀県全域のアンケート結果から、湖北圏域分のみ抽出し、湖北圏域の特徴について整理しました。結果は、以下のとおりです。

◇湖北圏域のアンケート結果の特徴

- ①市町が発信する情報で水害リスクを確認している方の割合が、県全域と比較するとやや多い傾向がある一方で、リスクを確認したことがない理由として「自宅は被害に遭わないと思っているから」、「ハザードマップを持っていないから」と回答された方の割合も増加傾向にあり、防災意識の高い方と低い方の二極化が進んでいる可能性がある。→【問2】【問3】
- ②避難開始のタイミングについて、「避難指示」の発令とする方の割合が県全域より高いが、減少傾向にある。→【問5】
- ③行政に対して望む取組として、ソフト対策については、県全域と同様に「河川の水位や雨量など危険を知らせてくれる情報」が多いが、ハード対策については、「川の中に繁茂した草木や土砂などの撤去」を求める回答が県全域の平均より多い。→【問7】
- ④その他のアンケート項目については、滋賀県全域の結果と同様の傾向を示した。

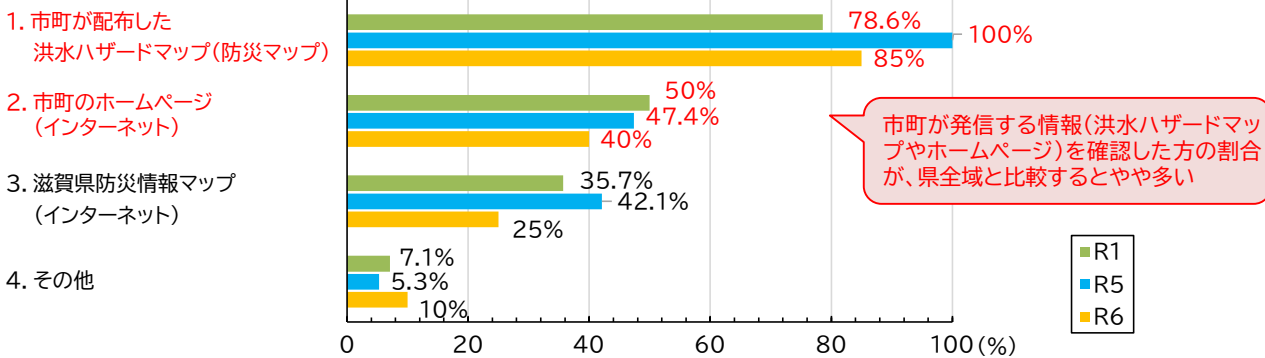
アンケート（湖北圏域）【問1】

近年、全国各地で水害や土砂災害が毎年発生しており、報道等により事前にリスクを確認するよう広報されていますが、あなたは自宅のリスクを確認したことがありますか。（単一回答）



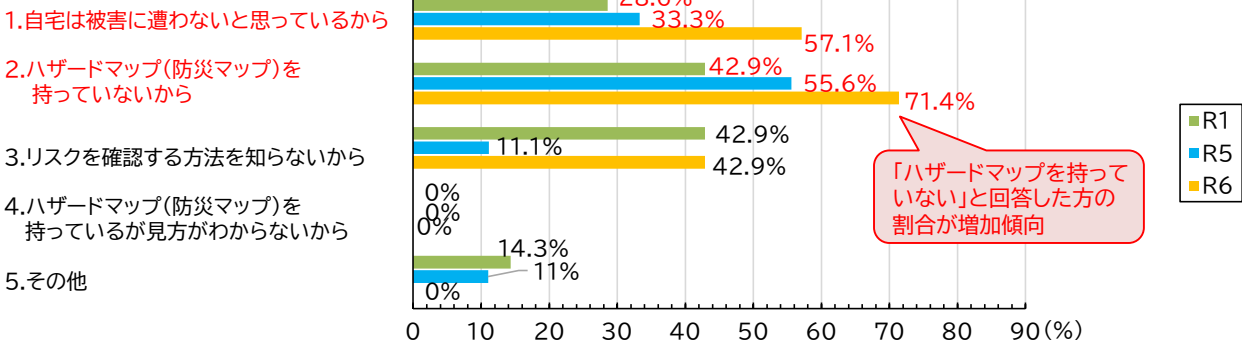
アンケート（湖北圏域）【問2】

問1で「リスクを確認したことがある」と回答された方にお聞きします。それはどのような方法で確認しましたか。（複数回答）



アンケート（湖北圏域）【問3】

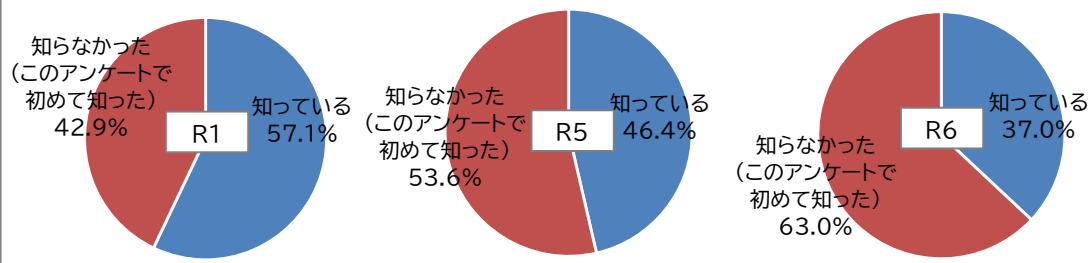
問1で「リスクを確認したことがない」と回答された方にお聞きします。自宅のリスクを確認しない理由は何ですか。（複数回答）



豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果(抜粋)

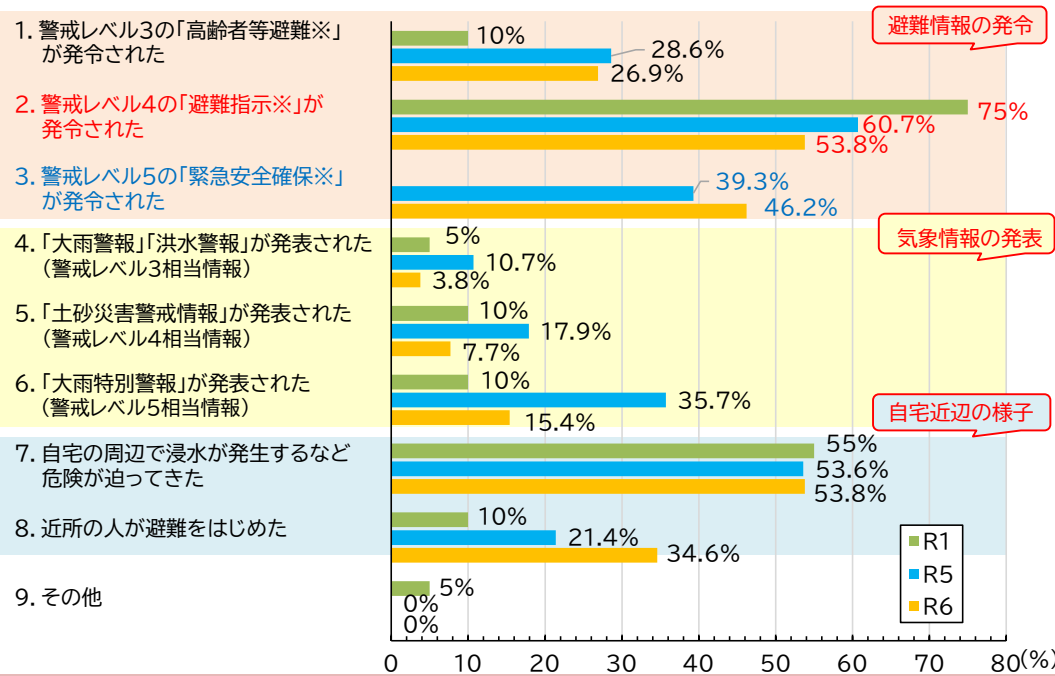
アンケート（湖北圏域）【問4】

滋賀県では、大きな河川の氾濫だけではなく、身近な水路や小河川の氾濫も含めた「地先の安全度マップ」という水害リスク図を公表しています。あなたは、「地先の安全度マップ」を知っていますか。（単一回答）



アンケート（湖北圏域）【問5】

豪雨により自分の周りで水害や土砂災害の危険性が高くなってきた場合、「指定された避難場所に避難する」「自宅の2階以上に垂直避難する」「避難場所にこだわらず安全な場所（親戚の家等）に避難する」と回答された方にお聞きします。避難を開始するタイミングについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。（複数回答）

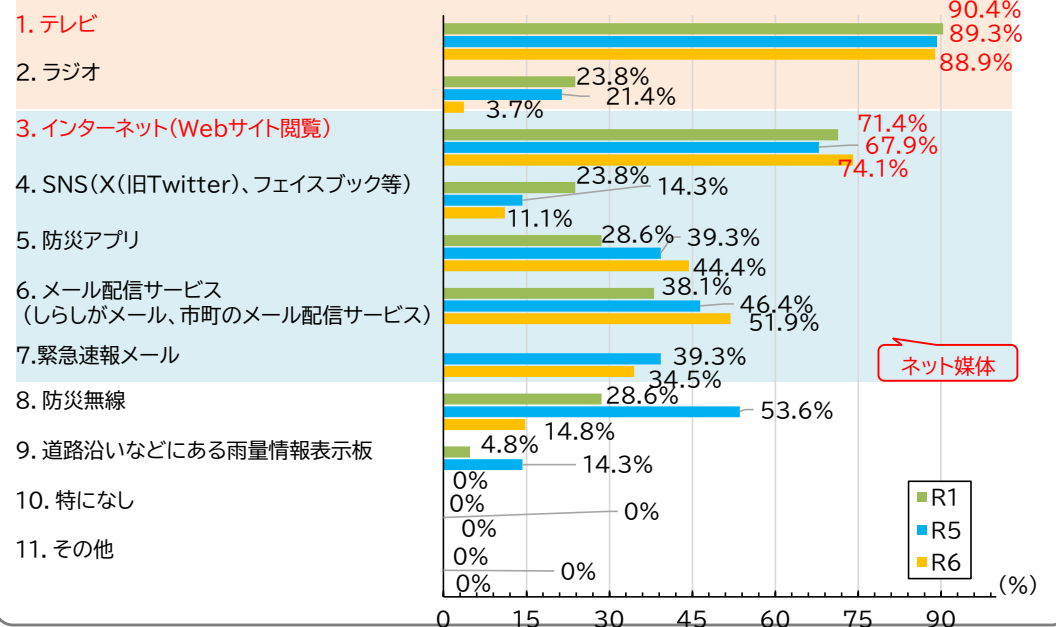


選択肢2と3両方に回答した方の割合は、R5は21.4%でR6は15.4%でした。また、選択肢2には回答せず選択肢3に回答した方の割合は、R5は17.9%でR6は30.8%でした。
→「避難指示※」の発令を避難開始のタイミングと判断する方の割合が増加傾向にあり、「緊急安全確保※」の発令を待ってから避難する方との割合が増加傾向にあります。

※ R1実施時は、警戒レベル3:「避難準備・高齢者等避難開始」、警戒レベル4:「避難勧告」、警戒レベル5:「災害発生情報」
選択肢3に対応する回答項目はなし(警戒レベル5:「災害発生情報」発令で避難する方の割合は調査していない)

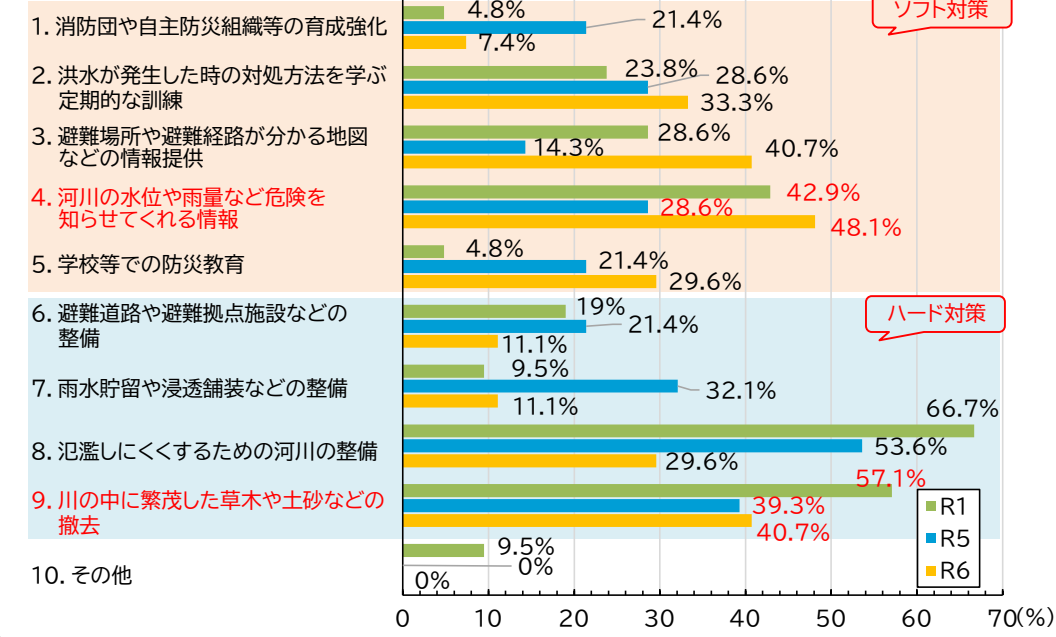
アンケート（湖北圏域）【問6】

※「7.緊急速報メール」はR5より追加
豪雨災害時の情報取得手段としてよく活用しているものを教えてください。（複数回答）



アンケート（湖北圏域）【問7】

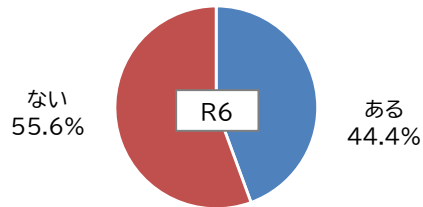
洪水から命や財産を守るため、あなたは県や市町の行政に対してどのような取組を望まれますか。重視して進めるべきと考えるものを選んでください。（複数回答、3つまで）



豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果(抜粋)

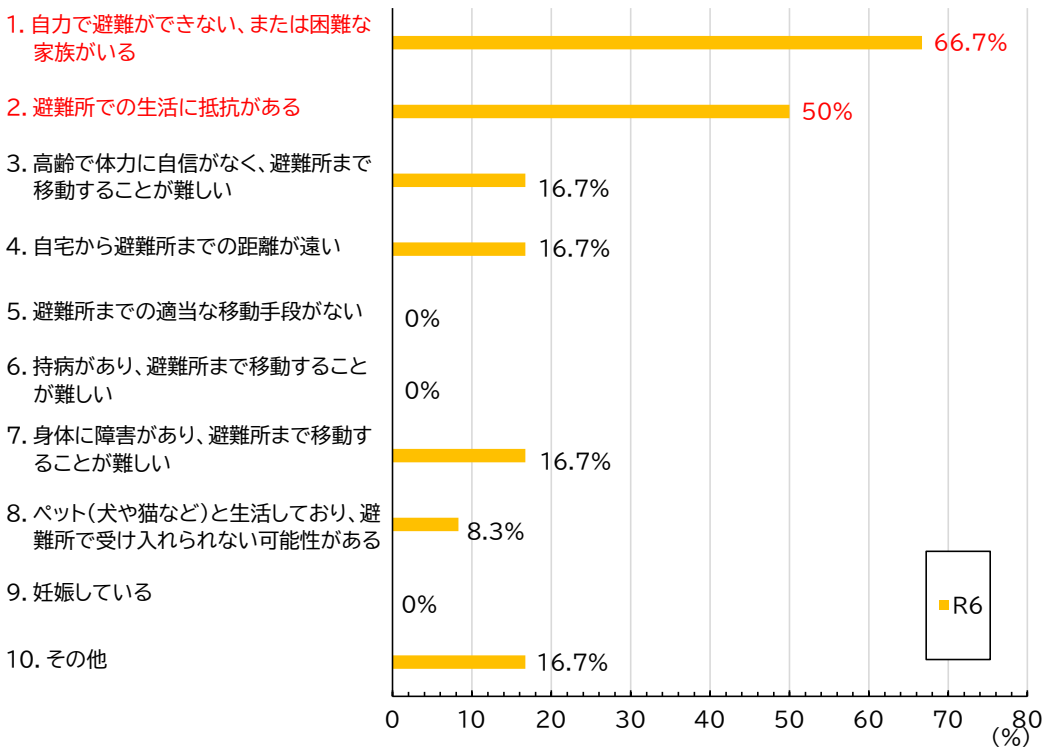
アンケート（湖北圏域）【問8】

自宅以外の場所への水平避難に当たり、支障となる事情はありますか。(単一回答)
※水平避難…自宅から、指定避難所や親戚宅等に移動して避難すること



アンケート（湖北圏域）【問9】

問8で「1. ある」と回答された方にお聞きます。あなたにとって避難の支障となる事情は何ですか。(複数回答)

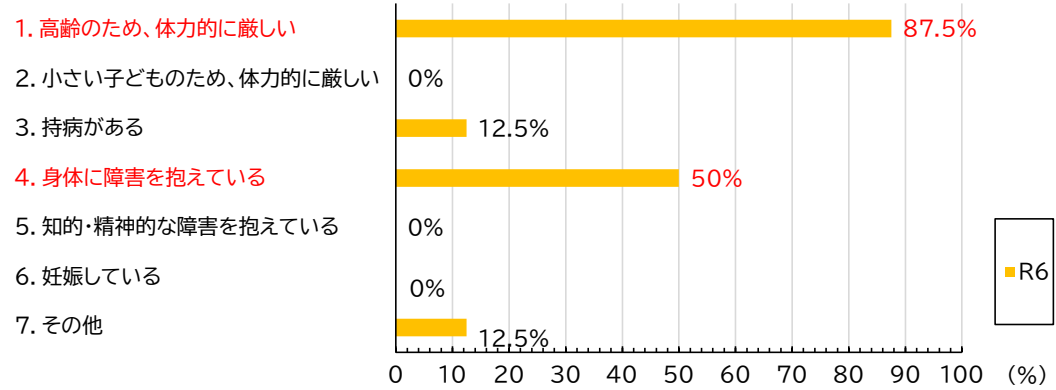


【「その他」選択で自由記述にて回答された内容(抜粋)】

- ・避難所までの経路が危険である。(アンダーパス)
- ・避難所が自宅より低い位置にある。

アンケート（湖北圏域）【問10】

問9で「自力で避難ができない、または困難な家族がいる」と回答された方にお聞きます。その方はどのような事情を抱えておられますか。(複数回答)

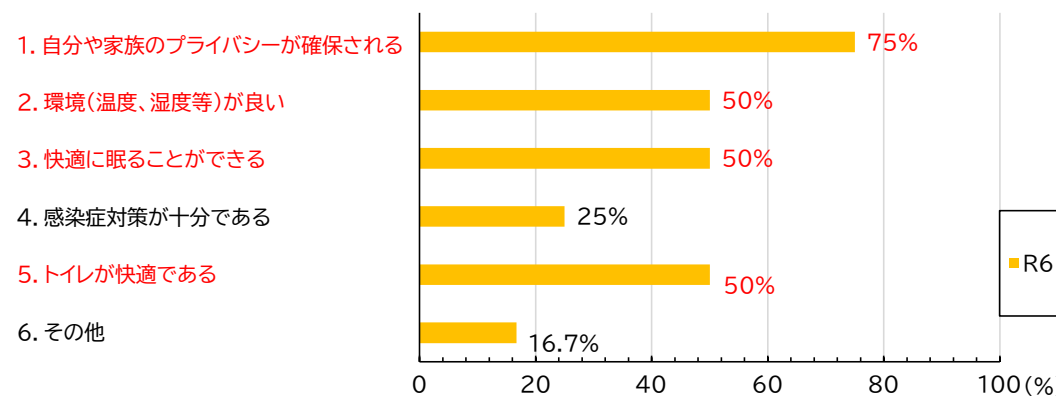


【「その他」選択で自由記述にて回答された内容(抜粋)】

- ・老老介護で、自分自身は自力で避難できるが配偶者が要介護4級で連れ出せない。時々避難訓練をしている。

アンケート（湖北圏域）【問11】

問8で「1. ある」と回答された方にお聞きます。避難所にどのようなことを求めますか。(複数回答)



【「その他」選択で自由記述にて回答された内容(抜粋)】

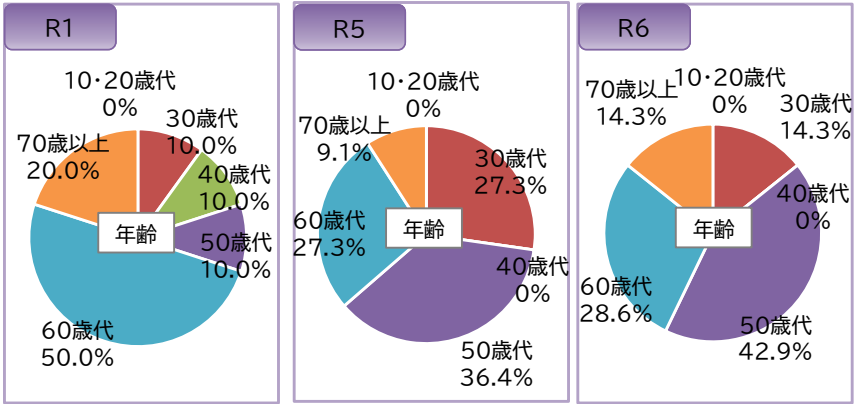
- ・車椅子での生活のため、段差や階段の昇り降りが困難。エレベーターが使えないと困る。
- ・民間のホテルなどを避難場所として確保できるように行政と協定をしてもらうことができないか。

※ 問8～問11は、R6年度実施分より新たに追加した設問

豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果(抜粋)

高島地域分のアンケート結果

	R1年度実施	R5年度実施	R6年度実施
調査時期	10月	11月	2月
高島地域対象者	10人	11人	7人



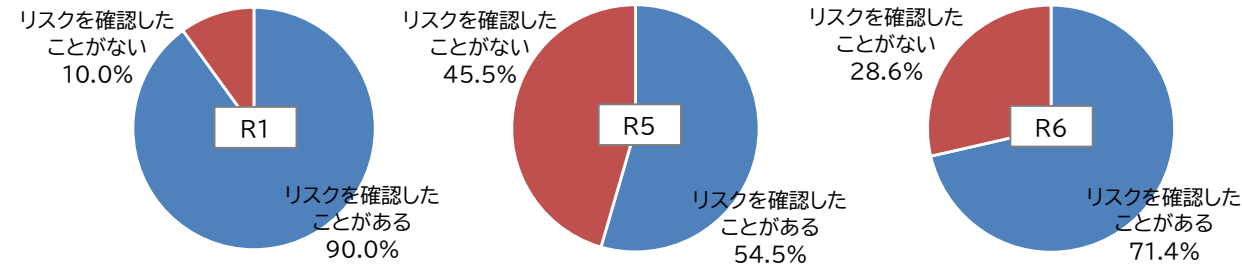
滋賀県全域のアンケート結果から、高島地域分のみ抽出し、高島地域の特徴について整理しました。
結果は、以下のとおりです。

◇高島地域のアンケート結果の特徴

- ①市町のホームページや滋賀県防災情報マップなど、インターネットを活用してリスク確認している方の割合が、県全域と比較するとやや高い。→【問2】
- ②避難開始のタイミングについて、「避難指示」の発令とする方の割合が県全域より高い。→【問5】
- ③豪雨災害時の情報取得手段として、防災無線を活用されている方の割合が、県全域と比較すると高い。→【問6】
- ④行政に対して望む取組として、「洪水が発生した時の対処方法を学ぶ定期的な訓練」を求める回答の割合が滋賀県全域の平均より高い。→【問7】
- ⑤そのほかのアンケート項目については、滋賀県全域の結果と同様の傾向を示した。

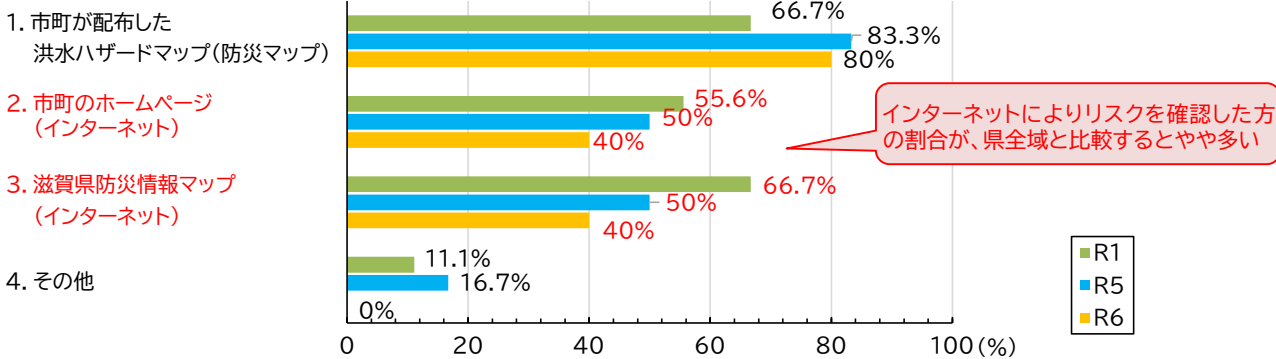
アンケート（高島地域）【問1】

近年、全国各地で水害や土砂災害が毎年発生しており、報道等により事前にリスクを確認するよう広報されていますが、あなたは自宅のリスクを確認したことがありますか。（単一回答）



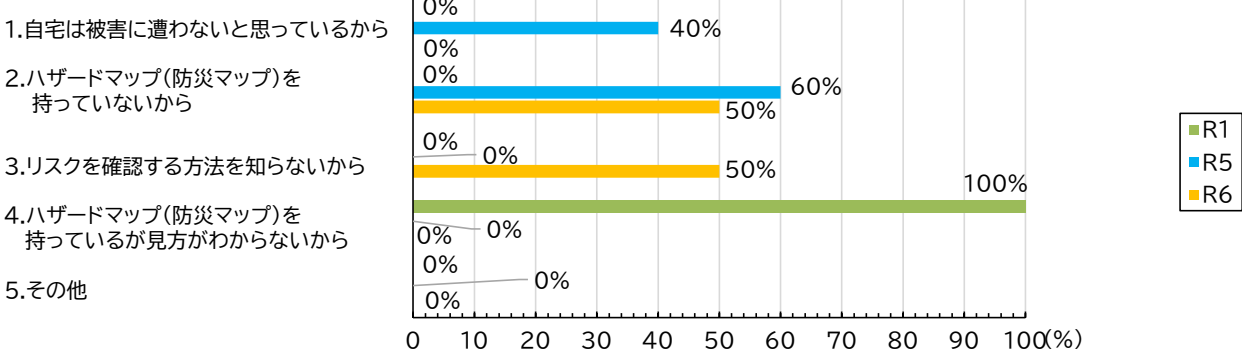
アンケート（高島地域）【問2】

問1で「リスクを確認したことがある」と回答された方にお聞きます。それはどのような方法で確認しましたか。（複数回答）



アンケート（高島地域）【問3】

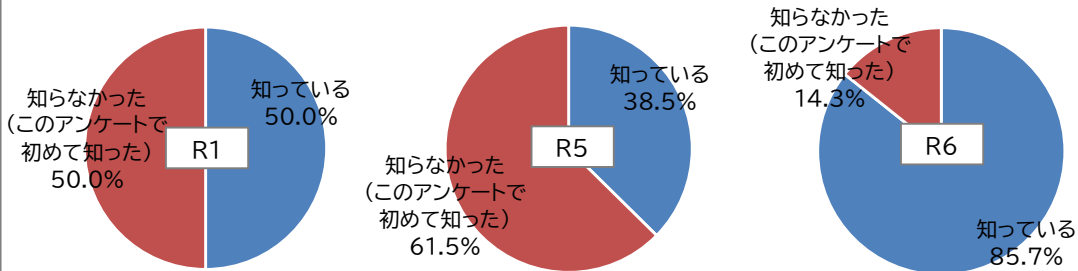
問1で「リスクを確認したことがない」と回答された方にお聞きます。自宅のリスクを確認しない理由は何ですか。（複数回答）



豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果(抜粋)

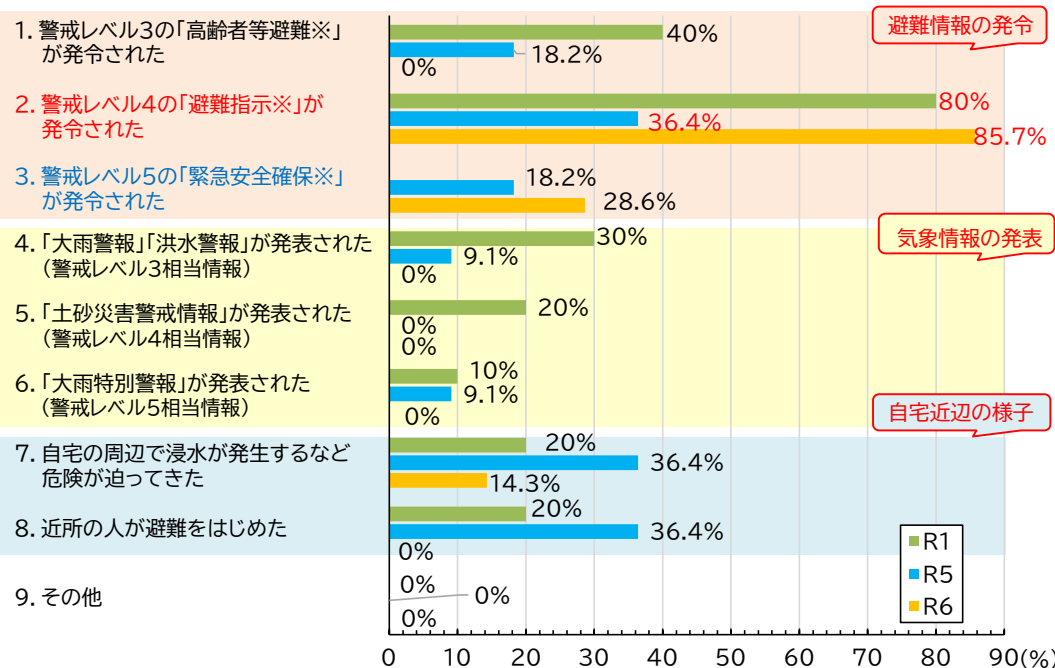
アンケート（高島地域）【問4】

滋賀県では、大きな河川の氾濫だけではなく、身近な水路や小河川の氾濫も含めた「地先の安全度マップ」という水害リスク図を公表しています。あなたは、「地先の安全度マップ」を知っていますか。（単一回答）



アンケート（高島地域）【問5】

豪雨により自分の周りで水害や土砂災害の危険性が高くなってきた場合、「指定された避難場所に避難する」「自宅の2階以上に垂直避難する」「避難場所にこだわらず安全な場所（親戚の家等）に避難する」と回答された方にお聞きします。避難を開始するタイミングについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。（複数回答）



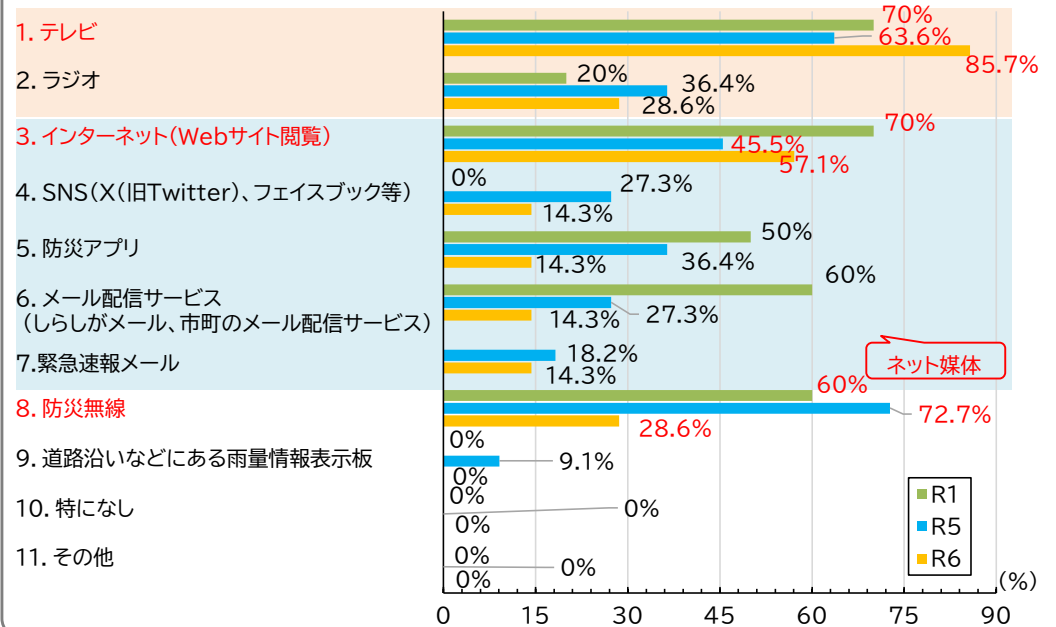
選択肢2と3両方に回答した方の割合は、R5は0%でR6は14.3%でした。また、選択肢2には回答せず選択肢3に回答した方の割合は、R5は18.2%でR6は14.3%でした。

※ R1実施時は、警戒レベル3:「避難準備・高齢者等避難開始」、警戒レベル4:「避難勧告」、警戒レベル5:「避難指示」

アンケート（高島地域）【問6】

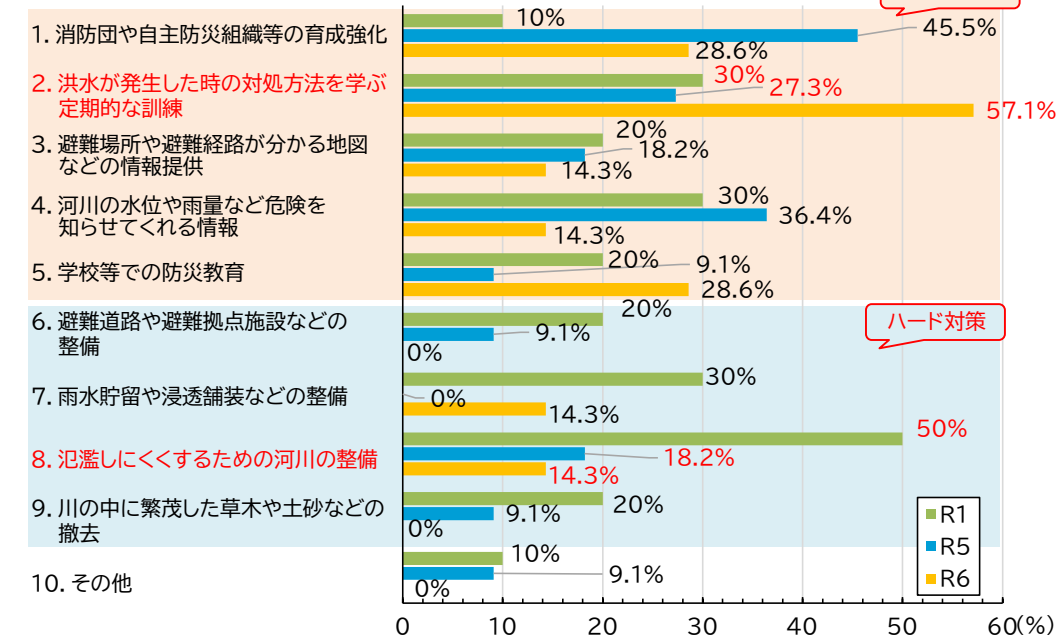
※「7.緊急速報メール」はR5より追加

豪雨災害時の情報取得手段としてよく活用しているものを教えてください。（複数回答）



アンケート（高島地域）【問7】

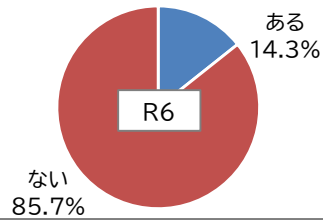
洪水から命や財産を守るため、あなたは県や市町の行政に対してどのような取組を望まれますか。重視して進めるべきと考えるものを選んでください。（複数回答、3つまで）



豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果(抜粋)

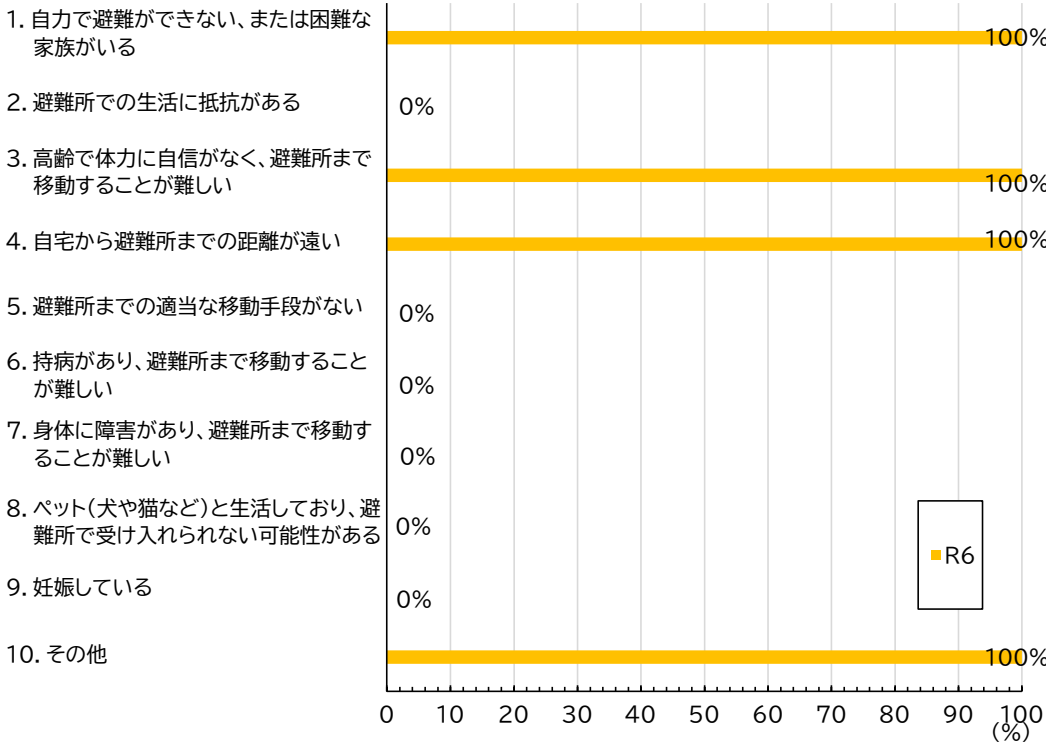
アンケート（高島地域）【問8】

自宅以外の場所への水平避難に当たり、支障となる事情はありますか。(単一回答)
※水平避難…自宅から、指定避難所や親戚宅等に移動して避難すること



アンケート（高島地域）【問9】

問8で「1. ある」と回答された方にお聞きます。あなたにとって避難の支障となる事情は何ですか。(複数回答)

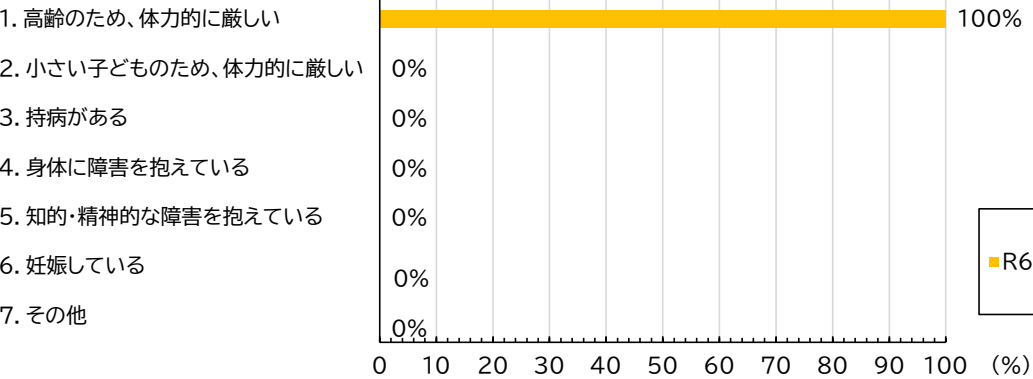


【「その他」選択で自由記述にて回答された内容(抜粋)】

・臭いで体調不良になる子どもがいる。

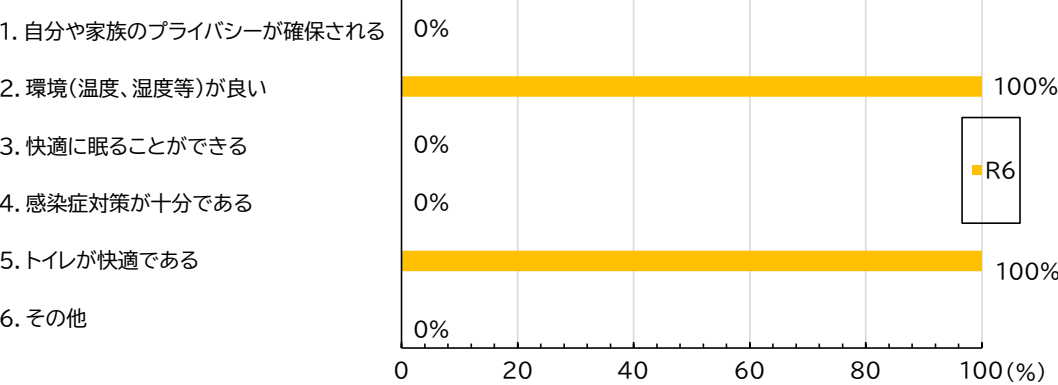
アンケート（高島地域）【問10】

問9で「自力で避難ができない、または困難な家族がいる」と回答された方にお聞きます。その方はどのような事情を抱えておられますか。(複数回答)



アンケート（高島地域）【問11】

問8で「1. ある」と回答された方にお聞きます。避難所にどのようなことを求めますか。(複数回答)



※ 問8～問11は、R6年度実施分より新たに追加した設問